

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	こども青少年局、教育委員会	課	児童課、学校教育課、学び支援課	事業番号	2111
事業概要 (PLAN)	基本目標 2 社会の制度・慣行等の見直し 方針 1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 ○ 施策の方向 1 教職員等の意識と指導力の向上 事業番号/事業名 2111 教職員等に対する学習機会、意識啓発の推進 事業内容 男女共同参画の視点に立った教育を推進するため、教職員(幼・小・中・養・高)や指導員等(児童ホーム・こどもクラブ)に対する研修等の学習機会、意識啓発の充実を図る。(管理職研修、人権教育研修講座、個別学習の推進等)				
30年度に向けた方向性 (PLAN)	【課題】 【児童課】研修や会議などの機会を通じて、専門知識の維持・向上や情報の共有を図りつつ、男女共同参画の視点を再認識できる機会づくりを行っていく。 【学校教育課】教育に係る人権課題は、複雑・多様化しており、各学校においては、対応に追われることもある。 【教職員等の学び支援課】今後ともさまざまな立場の人たちへの理解を深めていく必要がある。 【今後の方向性】 【児童課】研修や会議などの機会を通じて、専門知識の維持・向上や情報の共有を図るとともに、男女共同参画の視点を再認識できるよう取り組んでいく。 【学校教育課】各校の実情に応じて、適切に研修を計画し実施する。 【教職員等の学び支援課】引き続き、さまざまな立場の人達についての理解を深める研修講座を実施し、啓発を進めていく。				
参考	関連する計画				
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
30年度	別紙参照				
前年29年度	別紙参照				
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目	教職員が学習、研修を年1回以上実施した校数の割合【学校教育課】				
目標・実績	目標値	100%	達成年度	33年度	29年度 100% 30年度 95.2%
実績の評価	<input checked="" type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
【児童課】	引き続き性別による固定的な役割分担意識にとられないよう、研修や会議の場を設けていかなければならない。				
【学校教育課】	教育に係る人権課題は、複雑・多様化しており、各学校においては、いかに学習機会等を確保するのかが課題である。				
【学び支援課】	今後ともさまざまな立場の人たちへの理解を深めていく必要がある。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
【児童課】	性別による役割分担意識にとられないよう、引き続き職員に対し研修や学習の場を設けることにより、互いに認め合い共生できる人間としての感性が育つように努める。				
【学校教育課】	各校の実情に応じて、適切に研修を計画するとともに、男女共同参画を含めた広く教職員の人権感覚を磨く取組を継続していく。				
【学び支援課】	引き続き、さまざまな立場の人達についての理解を深める研修講座を実施し、啓発を進めていく。				

34 別紙

実施内容	
30 年度	<p>【児童課】 職員や大学の講師などを招き研修を行った。</p> <p>①H30年度6月に「児童ホーム育成支援指針の内容について考える」という題の研修を行った。研修の冒頭でダイバーシティについて資料を用いて説明。多様な家族構成があること、夫婦間の役割分担が昔とは変わってきていること(ワークライフバランス)、LGBTについて学んだ。誰もが生きやすく暮らしやすい社会になるよう、教育を行っていく必要があることを再認識するため研修を行った。</p> <p>②平成30年度11月に「児童期の発達を理解する 中学年～高学年の児童の発達を支えるために」という題の研修を行った。実際に成長していく中でどのような男女差が生まれてくるのか、思春期を迎え第二性徴期ともいわれる児童に対してどのように接していくか学んだ。</p> <p>【学校教育課】 市立小・中・高等学校において、男女共同参画の視点に立った教育に係る教職員研修等を実施した 小学校38校/41校(うち研修30校、自主学習13校)、中学校18校/18校(うち研修18校、自主学習0校)、高等学校3校/3校(うち研修3校、自主研修2校)、特別支援学校1校/1校(研修1校)。</p> <p>【学び支援課】</p> <p>①教職員研修事業:「人権教育研修講座」の実施 日時:平成30年8月20日(月) 場所:教育総合センター テーマ:「多様な性・LGBTと子どもたち」 講師:やっぱ愛ダホ! Idaho-net代表 遠藤 まめた 受講者数:約170名</p> <p>②教職員研修事業:「人権教育研修講座」の実施 日時:平成30年8月23日(木) 場所:教育総合センター テーマ:「多文化共生を学ぶ～世界の情勢を見つめる 人間の安全保障を考える」 講師:神戸大学大学院 栗栖 薫子 受講者数:約121名</p>
前年 29 年度	<p>【児童課】 職員や大学の講師などを招き研修を行った。下記は実際に行った研修の時期と表題である。</p> <p>⑦「こどもクラブ事業をより充実させるために」=児童館職員の実践から学ぶ=という題の研修を行い、子育ての不安や孤立感など子育て家庭を支援するため、こどもクラブとしてどうしていくかについて学んだ。</p> <p>⑨「こどもクラブでの遊びを充実させるために」という題の研修を行い、子どもに男女共同参画の視点を持って手を差しのべることで、子ども自身が遊びの中で男女共同参画の視点からの適切な気付きを持つようになることが大切であると学んだ。</p> <p>⑩「保護者とのかわりの中で大切にしたいこと」という題の研修を行い、今と昔の家庭状況の違いや取り巻く状況等について学んだ。現場の職員に対しては保護者、児童が様々な状況(共働き家庭、ひとり親家族の状況、保護者や子どもを取り巻く状況等)で生活していることの意識付けを改めて行い、こういう環境のもとでの児童の対応についても学んだ。 平成30年度においては、性別等に固定観念を植え付けないことを改めて意識付ける研修を行う。</p> <p>【学校教育課】 市立小・中・高等学校において、男女共同参画の視点に立った教育に係る教職員研修等を実施した 小学校41校/41校(うち研修27校、自主学習14校)、中学校18校/18校(うち研修16校、自主学習2校)、高等学校3校/3校(うち研修2校、自主研修1校)、養護学校1校/1校(研修1校)。</p> <p>【教職員の学び支援課】</p> <p>①教職員研修事業:「人権教育研修講座」の実施 [日時] 平成29年7月21日(金)[場所]教育総合センター [テーマ]「LGBTを学ぶ～だれもが自分らしく生きるために～」 [講師]NPO法人 LGBTの家族と友人をつなぐ会 理事 いわたに てるこ [受講者数]170名</p> <p>②教職員研修事業:「人権教育研修講座」の実施 [日時] 平成29年7月28日(金)[場所]教育総合センター [テーマ]「多文化共生を考える～みんなが幸せに生きる社会をめざして～」 [講師]NPO法人 他民族共生人権教育センター 理事 文 公輝 [受講者数]92名</p>

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	こども青少年局	課	保育指導課	事業番号	2112										
事業概要 (PLAN)	基本目標 2 社会の制度・慣行等の見直し 方針 1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 ○ 施策の方向 1 教職員等の意識と指導力の向上 事業番号/事業名 2112 保育士研修の実施 事業内容 保育士に対し専門性向上のひとつとして人権・男女共同参画に関連する研修を実施する。														
30年度に向けた方向性 (PLAN)	【課題】 「保育者の基本姿勢自己点検表」については、今年度も各保育所の職場研修として7月までに読み合わせをしたり、自己チェックをしたりして、自分自身の人権意識を振り返る機会としている。新規採用職員が増える中、職場全体で人権意識を高めていけるように、読み合わせ等にも時間を十分にとり取り組んでいく必要がある。 【今後の方向性】 今後も継続して、人権等に関する研修を行い、職員の人権意識向上を図る。														
参考	関連する計画														
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。														
30年度	公立保育所では、年に1回「保育者の基本姿勢自己点検表(チェック項目の中に、・性差や性別による固定的な役割分業意識を植え付けないようにする。・性別、障害の有無、国籍などにかかわらず、互いに認め合い共生できる人間としての感性が育つように努める。等の項目がある)」、及び「保育の自己評価(チェック項目の中に、・一人ひとりの子どもを尊重した保育について、共通の理解をもつための取り組みを行っている)」を行い、人権意識を高めるための取り組みをしている。 (公立) 基礎研修・専門研修 47回1141人 保育所職場別研修:(保育所数21所)職場別研修の内、人権等にかかる研修 91回834人(うち、男女共同参画にかかる研修 21回 232人) 派遣研修:5回13人 (私立) 私立保育所や小規模保育事業所、認定こども園等に対し、保育指導課が主催する専門研修に参加を呼びかけるとともに、県や団体等が実施する研修等の情報を提供している。参加のよびかけを行っている研修のうち、男女共同参画にかかる研修は1回で、私立保育園11ヶ所、小規模保育事業所11ヶ所、認可外保育所4カ所の参加があった。 【職場研修内容(主なもの)】 保育者の基本姿勢自己点検表の取り組み、保育の中の人権について、ユマニチュードの視点から人権保育を学ぶ、職員の人権意識について～「尼崎市の保育を読んで」～、一人一人を大切に保育について など														
前年29年度	公立保育所では、年に1回「保育者の基本姿勢自己点検表(チェック項目の中に、・性差や性別による固定的な役割分業意識を植え付けないようにする。・性別、障害の有無、国籍などにかかわらず、互いに認め合い共生できる人間としての感性が育つように努める。等の項目がある)」、及び「保育の自己評価(チェック項目の中に、・一人ひとりの子どもを尊重した保育について、共通の理解をもつための取り組みを行っている)」を行い、人権意識を高めるための取り組みをしている。 (公立) 基礎研修・専門研修 42回1081人 保育所職場別研修:(保育所数21所)職場別研修の内、人権等にかかる研修 80回764人(うち、男女共同参画にかかる研修 21回 248人) 派遣研修:4回12人 (私立) 私立保育所や小規模保育事業所、認定こども園等に対し、保育指導課が主催する専門研修に参加を呼びかけるとともに、県や団体等が実施する研修等の情報を提供している。参加のよびかけを行っている研修のうち、男女共同参画にかかる研修は1回で、私立保育園9ヶ所、小規模保育事業所7ヶ所があった。 【職場研修内容(主なもの)】 保育者の基本姿勢「子どもの人権を大切に」とは 保育の中の人権について 子どもの権利条約について 人権を意識した保育者の言葉かけ 一人一人に寄り添う保育 など														
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓														
評価2	(CHECK) 数値目標 目標項目 目標・実績 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td>備考</td> </tr> </table>					目標値	達成年度	年度	29年度	30年度	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
目標値	達成年度	年度	29年度	30年度											
<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考											
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について														
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。														
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。														
今後公立保育所においては、継続して人権等に関する研修及び「保育者の基本姿勢自己点検表」の取組を行い、職員の人権意識向上を図る。また、専門研修で「人権等に関する研修」を行う時には、引き続き広く尼崎市市内の保育施設に参加を呼びかける。															

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

事業概要 (PLAN)	
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 ○
施策の方向	2 学校教育等における男女共同参画意識の向上
事業番号/ 事業名	2121 男女共同参画の視点に立った教育の推進
事業内容	・全教育活動の中で、男女の固定的な役割分担を前提とせず、人権の尊重・男女の協力・相互理解等の指導の充実に努めるとともに、男女が性別にかかわらず、互いにその個性を尊重しつつ、等しく責任を分かち合い、それぞれの能力を十分に発揮することができるような教育を推進する。・男女混合名簿完全実施を維持する。
30年度に 向けた 方向性 (PLAN)	【課題】 教育に係る人権課題は、性に関する悩み、人間関係における不安など、複雑・多様化しており、各学校においては、対応に追われる機会が多く、その中でいかに男女共同参画の視点に立った指導や教育を行っていくかが課題である。 【今後の方向性】 各校の実情に応じて、人権課題において適切な対応を図るとともに、道徳の時間を有効に活用しながら男女共同参画の視点に立った教材研究、人権教育資料「きらめき」の活用、また、適切に校内研修を計画し実施するなど、教育活動全般を通して、児童生徒の人権感覚を磨く取組を継続して行っていく。
参考	関連する計画
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。
30年度	○兵庫県教育委員会作成の「男女共同参画社会をめざす学校教育の実践に向けて」や、人権教育資料「ほほえみ(小学校用)」「きらめき(中学校用)」などを道徳等で活用し、男女共同参画の視点に立った教育の推進に努める。 また、社会科や保健、家庭科などの授業でも男女共生教育を取り扱うなど、教育活動全般を通して取組を進めていく。 (参考) ・「ほほえみ」の男女共生教育にかかわる部分の活用状況:68% ・「きらめき」の男女共生教育にかかわる部分の活用状況:22% 県の副読本である「きらめき」以外でも、男女共同参画の視点にたった内容項目のある教材などを活用したり、人権に関する講演会を実施したり、人権教育全般における教育の推進に努めており、結果として中学校では、「きらめき」の活用状況が低い状況にある。 ○男女混合名簿は、全ての小・中学校で実施している。また、学校経営の中で男女分け隔てなく生活できるよう、互いに理解し合えるよう取り組んでいる「持ち物等の色を性差で分けるのではなく、好みや個性で選ぶ」としている学校もある。
前年 29年度	県教委作成の「男女共同参画社会をめざす学校教育の実践に向けて」や、人権教育資料「ほほえみ(小学校用)」「きらめき(中学校用)」を道徳等で活用するなど、男女共同参画の視点に立った教育の推進に努めた。 また、社会科や保健の授業でも男女共同参画の視点に立った教育について取り扱っている。 (参考) ○「ほほえみ」の男女共生教育にかかわる部分の活用状況:小学校95.1% ○「きらめき」の男女共生教育にかかわる部分の活用状況:中学校22% 県の副読本である「きらめき」以外でも、男女共同参画の視点にたった内容項目のある教材などを活用したり、人権に関する講演会を実施したり、人権教育全般における教育の推進に努めており、結果として中学校では、「きらめき」の活用状況が低い状況にある。 男女混合名簿は、全ての小・中学校で実施している。

局	教育委員会	課	学校教育課	事業番号	2121
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
を入れてください					
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	各校の実情に応じて、人権課題において適切な対応を図るとともに、道徳の時間を有効に活用しながら男女共同参画の視点に立った教材研究、人権教育資料「ほほえみ」「きらめき」の活用、また、適切に校内研修を計画し実施するなど、教育活動全般を通して、児童生徒の人権感覚を磨く取組を継続して行っていく。				

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	教育委員会	課	学校教育課	事業番号	2122
事業概要 (PLAN)	基本目標 2 社会の制度・慣行等の見直し 方針 1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 ○ 施策の方向 2 学校教育等における男女共同参画意識の向上				
事業番号/事業名	2122 女子生徒の理工系分野への進学支援を含む進路指導の充実				
事業内容	理工系分野に興味がある女子生徒の進路選択を支援するため、国等が行う女性の科学技術系進路への興味、理解の向上に向けた取組情報を積極的に生徒に提供するなど、性別にとらわれず主体的に進路選択ができるよう進路指導の充実を図る。				
30年度に向けた方向性 (PLAN)	【課題】理工系分野に興味や適性をもつ女子生徒には理工系分野の進路に関する情報を提供する。 【今後の方向性】個別の具体的な進路相談や懇談による支援を行い、生徒が自らの能力や適性に応じて、主体的に多様な進路選択ができるように、生徒の思いを大切にしながら進路指導の充実を図り、性別にとらわれず主体的に進路選択ができるよう教育活動全体を通じた丁寧な取組を継続して進める。				
参考	関連する計画				
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
30年度	・中学校では、市内全18校の1～3年生に「キャリアノート」を配布し、生徒が自らの能力や適性に応じて、主体的に多様な進路選択ができるように、生徒の思いを大切にしながら進路指導に努めた。 ・高等学校では、生徒が自らの興味や関心、適性等に応じて進路選択ができるように、進路指導担当教員を中心に個別に具体的な進路相談による進路指導の中で、インターネット等を活用し進路情報を収集し、生徒に提供した。 ・中学校、高等学校ともに、例えば、理工系分野に関心をもつ女子生徒には、「女子中高生理系進路選択プログラム」に関する情報を提供する等、それぞれの生徒の成績や適性に応じた進路指導に努めた。 ・また、学校へのアンケートのなかには、「キャリア教育の中で、これまでの職業に対する性差や偏見にとらわれず、自由に希望し選択が広がっていることを教える」という回答もあった。				
前年29年度	・中学校では、市内全18校の1～3年生に「キャリアノート」を配布し、生徒が自らの能力や適性に応じて、主体的に多様な進路選択ができるように、生徒の思いを大切にしながら進路指導に努めた。 ・高等学校では、生徒が自らの興味や関心、適性等に応じて進路選択ができるように、進路指導担当教員を中心に個別に具体的な進路相談による進路指導の中で、インターネット等を活用し進路情報を収集し、生徒に提供した。 ・中学校、高等学校ともに、例えば、理工系分野に関心をもつ女子生徒には、「女子中高生理系進路選択プログラム」に関する情報を提供する等、それぞれの生徒の成績や適性に応じた進路指導に努めた。				
評価1 (CHECK)	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
評価2 (CHECK)	(CHECK) 数値目標 目標項目 目標・実績				
実績の評価	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3 (CHECK)	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 (学校教育課) 市内中学校で生徒に配付している進路指導ノート「未来への扉～尼崎市立中学校用キャリアノート～」に掲載するイラストについて、性別にかかわらず主体的に多様な進路選択ができるよう、男女共同参画の視点に立った、性別による固定的な役割分業意識を助長することのないイラストに変更するよう検討された。 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について 性別による固定的な役割分業意識を助長することのないイラストに変更し、改善した。(冊子提出)				
課題 (CHECK)	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
今後の方向性 (ACTION)	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	生徒が自らの能力や適性に応じて、主体的に多様な進路選択ができるように生徒の思いを大切にしながら進路指導に努める必要がある。 性別にとらわれず主体的に進路選択ができるよう、児童生徒ひとりひとりの進路実現に向けて、「キャリアノート」の活用による発達段階に応じた支援、個別の具体的な進路相談や懇談による支援など、教育活動全体を通じた丁寧な取組を継続し進路指導の充実を図る。				

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	教育委員会	課	学校教育課	事業番号	2123										
事業概要 (PLAN)		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか													
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し	実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓												
方針	1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 <input type="checkbox"/>		を入れてください												
施策の方向	2 学校教育等における男女共同参画意識の向上														
事業番号/事業名	2123 地域や家庭に対する啓発活動の充実	事業内容													
市の教育啓発誌や学校などからの配布物などを利用して啓発活動を推進する。		評価2 (CHECK) 数値目標 目標項目 目標・実績 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td>備考</td> </tr> </tbody> </table>				目標値	達成年度	年度	29年度	30年度	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
目標値	達成年度	年度	29年度	30年度											
<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考											
30年度に向けた方向性 (PLAN)	【課題】 保護者・地域への啓発を進める必要がある。 【今後の方向性】 今後も学校からの配布物など様々な機会をとらえて啓発活動を行う。	評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について													
参考	関連する計画	課題 (CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。													
実施内容 (DO) ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。		今後の方向性 (ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。													
30年度	人権週間などの機会をとらえて、人権啓発につながる校内掲示を行ったり、人権啓発つながる題材を「学校だより」等に掲載し、保護者や地域に配布する等、啓発活動を行った。(参考 別紙) ○各学校の取組 ・男女共同参画の観点で、保健だよりや学校のホームページ等を活用して、各種講演会や体験教室の内容や感想を載せることで、家庭への啓発を行っている。 ・男女共生の観点で、講演会を活用して、性同一性障害についての知識・理解を深める場を設けた 等	今後も継続的に保護者・地域への開発を進める必要がある。													
前年29年度	人権週間などの機会をとらえて、人権啓発につながる題材を「学校だより」等に掲載し、保護者や地域に配布する等、啓発活動を行った。(参考 別紙)	様々な機会をとらえて、保護者・地域への啓発を継続して行う。													



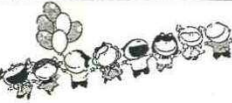
学校だより

浜小HP <http://www.ama-net.ed.jp/school/E15/index.html>

H30.12.3(月) NO.10
 尼崎市立浜小学校
 校長 中根 孝介
 06-6499-1536



自分を大切に・周りの人を大切に ~人権週間~



今年もまたたくまに日が過ぎ、あとひと月になりました。師走(しわす)に入りました。子ども達もランニング大会に向けて、朝ランニングに励んでいます。

さて、12月4日から人権週間が始まります。これは、国際連合で1948年(昭和23年)12月10日の第3回総会において**世界人権宣言**が採択されたことに由来します。世界人権宣言は、世界における自由、正義及び平和の基礎である基本的人権を確保するため、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として採択されました。1950年12月4日の第5回総会では、世界人権宣言が採択された**12月10日**を「**人権デー**」と定め、全ての加盟国及び関係機関がこの日を祝賀する日として、人権活動を推進するための諸行事を行うよう要請する決議を採択しました。

日本では、法務省と全国人権擁護委員連合会が世界人権宣言の採択を記念し、1949年に**毎年12月10日を最終日とする1週間(12月4日から同月10日まで)**を、「**人権週間**」と決めました。そして、今年も、第70回目の人権週間になります。昨年度に引き続き、啓発活動重点目標を「**みんなで築こう 人権の世紀 ~考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心~**」として、啓発活動を展開します。

近年、いじめや体罰、児童虐待など、子どもに関する人権問題も大きく取り上げられています。SNSを通じたトラブルや人権問題も増加傾向にあります。偏見や差別の根絶、よりよい社会、誰もがくらしやすい、やさしい社会を次の世代に承継していかなければなりません。

一人一人の意識と行動が大切です。浜小学校でも、毎年、この人権週間の前後に人権に関する学習を継続して行っています。点字学習や人権擁護委員さんによる人権学習会、講演会等をはじめ、家庭で「ほほえみ」を一緒に読んでいただいたりすることもその一環です。例年「ほほえみ」

<人権週間にあたって>

12月3日(月)の朝会で子ども達に人権についてのお話をしました。

①「自分を大切にすること」

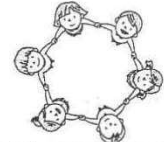
『自分を大切にする』といっても『自分自身をかわいがり甘やかすばかり』ではいけません。『自分を大切にする』ということは、『自分自身をよりよくしていこう。』ということではないかと思えます。年齢や性別、立場に関係なく、向上心を持ち自分を少しでもよくしていこうという気持ちが大切ではないでしょうか。勉強をすれば「少しでもわかるように」、スポーツをすれば「より強く」「より速く」、生活面では、「より優しく」「より健康に」「規則正しく生活できるように」「ルールやマナーを守る人」・・・と願いは尽きません。自分の夢や願いをかなえるため、しっかりと考え判断できる力を育てていきたいと思えます。

②「周囲の人を大切にすること」

周囲の人とは、家族、親戚、友達、ご近所の方々、学校の先生などです。いくら自分のことが大切でも、周りの人はどうでもいいというわけではありません。周りの人の気持ちを考えて行動したり、周りの人を大切にしたりすることも大切なことです。周りの人のことを思いやり、気を配っていくからこそ、自分もさらにいかされ、成長していくものだと思います。

そして、この二つの「**自分を大切にすること**」「**周囲の人を大切にすること**」とあわせて、「**自他ともに命を大切にすること**」を忘れてはなりません。命は当然のことながらひとつしかありません。そのかけがえのない命(自分を含め周りの人の命)を大切に、精一杯生きていくことが大切だと思います。そうすると、たくさんの喜びを味わうことができ、楽しい経験もいっぱいできるのではないかと思います。

自分だけでなく周囲の人も気持ちよく、幸せに過ごせるように、まず、身近で簡単なことから始めてみませんか。**先日、3年の担任の先生から「そうじは、〇〇さんがピカイチ」だとの声を聞きました。身の回りがきれいになれば、自分も周りの人もすっきりして気持ちがよいものです。**他にも「気持ちのよいあいさつをするとさすがしく一日を始めることができますよ。」「くつをそろえると気持ちがいいですよ」「体をしっかり動かすと健康にもよいですよ。」「・・・等々、**どれも当たり前のことかもしれませんが、学校でも子ども達にいろいろな機会をとらえて粘り強く呼びかけていきたいと**



平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	こども青少年局	課	保育指導課、幼稚園・高校企画推進担当	事業番号	2124
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
を入れてください					
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
	【幼稚園・高校企画推進担当】 体験保育事業の宣伝方法のより一層の工夫(チラシ配布場所、ホームページ等の活用等) 【保育指導課】 入所している家庭でいえば、保育所行事への参加は年々父親の参加も増えている。送迎等を父親が行っているケースもあるが、父親の方が長時間勤務のケースも多く、母親の送迎の方が圧倒的に多い傾向にある。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	【幼稚園・高校企画推進担当】 保健所の健診場所、小児科等での配布など、チラシ配布場所を増やすことで、地域の幼稚園での親子活動への保護者の参加者増につなげていく。 【保育指導課】 入所児童向けの懇談会は夜間に行うので、父親の参加も呼びかけるなどし、楽しんで育児参加をしてもらえるような雰囲気づくりをする。また、地域の保護者向けの事業「夢ルーム」でも、男性の育児参加の視点も入れながらアドバイスを行う。				

事業概要 (PLAN)					
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し				
方針	1 学校等における男女共同参画の推進				重点方針 <input type="radio"/>
施策の方向	2 学校教育等における男女共同参画意識の向上				
事業番号/事業名	2124 保育所等における保護者への啓発				
事業内容	保護者が子どもに対して性別による固定的な役割分担意識で接することのないような啓発、男性の育児参加についての啓発を行う。				
30年度に向けた方向性 (PLAN)	【課題】 【保育指導課】日々、保護者は仕事と子育てに忙しく、じっくり話ができにくい保護者もいるのが現状である。 【学校教育課】親子活動や休日開催など、各園の実態に応じた創意工夫による取組を進める必要がある。 【今後の方向性】 【保育指導担当】今後も、公立保育所は、入所している保護者に対し、日々の送迎や行事、懇談会など色々な機会を捉えて両親がともに子育てができるように働きかけていく。また、地域の子育て世帯の保護者から育児相談を受ける際には、男女共同参画の視点でアドバイスをする。 【学校教育課】今後も各園の実態に応じた創意工夫による取組を進める。				
参考	関連する計画				
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
30年度	【保育指導課】 (公立) 公立保育所は、入所している保護者に対し、日々の送迎や行事、懇談会など色々な機会を捉えて両親がともに子育てができるように働きかけている。 ・保育所だよりの発行(毎月) ・保護者参加の行事等を実施(保護者総会、クラス懇談会、個人懇談会、保育参加、運動会等) ・子育てサポートブック「amaえんぼう」を地区の生涯学習フェアや保育体験、夢ルームに来られた方に配布するとともに、保育所の見学に来られた方にも配布した。(夢ルームでは、保護者同士のフリースークの時間を活用し、男性の育児参加を含め子育てについて 情報交換した) ・子育て支援事業案内 8,000枚/年 ・市内を4つの地域に分けて、それぞれで地域版チラシを作成して配布した。(秋版3,480枚/年) ・尼崎市立保育所の保育のリーフレットの配布 【幼稚園・高校企画推進担当】 ・行事等を行う際に親子活動を取り入れたり、休日に開催したりしながら、両親が参加しやすい取組を行った。 ・幼稚園で行う市立幼稚園体験保育事業では、地域の親子が両親ともに参加しやすい取組を行った。(年間25回)				
前年29年度	【保育指導担当】 (公立) ・保育所だよりの発行(毎月) ・保護者参加の行事等を実施(保護者総会、クラス懇談会、個人懇談会、保育参加等) ・子育てサポートブック「amaえんぼう」を地区の生涯学習フェアや保育体験、夢ルームに来られた方に配布するとともに、保育所の見学に来られた方にも配布した。(夢ルームでは、保護者同士のフリースークの時間を活用し、男性の育児参加を含め子育てについて学んだ) ・子育て支援事業案内 8,000枚/年 ・市内を4つの地域に分けて、それぞれで地域版チラシを作成して配布した。(春版・秋版) 4,400枚/年 ・尼崎市立保育所の保育のリーフレットの配布 (私立) ・保育園を運営している法人が、それぞれの策定する保育方針に基づき、啓発活動をしている。 【学校教育課】 幼稚園では、行事等を行う際に親子活動を取り入れたり、休日に開催したりしながら、両親が参加しやすい取組を行った。				

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	教育委員会事務局	課	社会教育課	事業番号	2125		
事業概要 (PLAN)		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか					
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し	実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
方針	1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 <input type="checkbox"/>						
施策の方向	2 学校教育等における男女共同参画意識の向上	を入れてください					
事業番号/事業名	2125 人権啓発活動事業	評価2 (CHECK) 数値目標					
事業内容	男女共同参画意識の高揚・定着が図られるよう、児童・生徒・幼児の保護者等に対し、人権啓発資料による啓発活動や人権啓発講座等を実施する。	目標項目					
30年度に向けた方向性 (PLAN)	【課題】小集団学習事業については、少子化による保護者総数の減少や、共働き世帯の増加で日常生活が非常に繁忙になっているなか、学習活動の中核となる「PTA」活動者の担い手不足などの状況があり、小集団学習グループの継続が厳しい状況である。また、幼稚園の廃園や地域学習館の閉鎖等で活動グループが減少している。 【今後の方向性】市民一人ひとりの人権が尊重され、自己実現に向けて生きる喜びを感じられる「互いの人権を尊重し、ともに生きるまち」を目指し、市民啓発冊子等の作成や、人権教育小集団学習事業の充実が今後必要である。 市民啓発冊子・・・「アサーション」をテーマに、自分も相手も大切にコミュニケーションについて伝える資料の作成を進めている。 人権教育小集団学習事業・・・現在活動しているグループの存続はもとより、より多くの市民に人権について学ぶ機会を提供する方法について、新たなアプローチから検討していく必要がある。	目標・実績	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
参考	関連する計画	実績の評価					
	尼崎市人権教育・啓発推進基本計画	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考	
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。	評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容					
30年度	別紙参照	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について					
前年29年度	別紙参照	課題 (CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。					
		小集団学習事業については、少子化による保護者総数の減少や、共働き世帯の増加で日常生活が非常に繁忙になっているなか、学習活動の中核となる「PTA」活動者の担い手不足などの状況があり、小集団学習グループの継続が厳しい状況である。また、幼稚園の廃園等に併い活動グループが減少している。					
		今後の方向性 (ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。					
		市民一人ひとりの人権が尊重され、自己実現に向けて生きる喜びを感じられる「互いの人権を尊重し、ともに生きるまち」を目指し、人権問題啓発資料等の作成や、人権教育小集団学習事業の充実が今後必要である。今年度は、大人と同様に一人の人間として尊重されるべき「子どもの人権」をテーマに、社会全体で子どもを守り育ていくことの大切さを伝える人権啓発資料の作成を進めている。人権教育小集団学習事業は、現在活動しているグループの存続はもとより、より多くの市民に人権について学ぶ機会を提供する方法について、新たなアプローチから検討していく必要がある。					

40 別紙

2125 別紙

実施内容	
30 年度	<p>基本的人権が尊重される地域社会の形成に向け、人権啓発資料の作成・配布を行うとともに学習会・講演を実施し、市民の意識の高揚を図る。</p> <p>○ 市民啓発活動事業 <趣旨> 市民への、人権学習の普及、徹底を図るとともに、地域社会への人権学習活動の浸透を図るため、人権啓発資料を作成し配布する。 <内容> テーマ:冊子「アサーション～自分を大切に、相手も大切にすかかわり～」(自分を大切にすると同時に、相手のこともまた大切にしようという相互尊重の精神に基づいた自己表現方法等) <執筆> 公益財団法人関西カウンセリングセンター ころ相談室 室長 宮田 智基 氏 (臨床心理士) <発行部数等> 90,000部 市内各学校・園(所)、その他公共施設等及び市民向けに配布。 ○ 学習資料の発行事業「あけぼの」 <趣旨> 人権問題について学習する小集団学習者に教材を提供することにより学習効果を高める。 <作成部数等> 1,100部 小集団学習者 幼稚園、小・中学校その他教育機関等 ○ 人権週間のつどい事業(人権週間・街頭啓発活動・冊子「じんけん」) <目的> 人権週間の記念行事を開催することにより、世界人権宣言の精神に学び人権の内容を正しく理解し、人権の尊さについて市民に考える機会を提供し、人権思想の普及高揚を図る。人権週間のつどいにおいて表彰される、中学生の人権作文及び小学生の人権書道(硬筆)の作品集として、冊子「じんけん」を作成する。 <作成部数等> 850部 人権週間のつどい参加者及び市内中学校・小学校及び公民館等社会教育施設へ配布 ○ 人権教育小集団学習事業 <目的> 人権問題の解決のため、市内の自主的小集団学習グループに事業を委託し、系統的・継続的な相互学習を進め、市民の人権問題に対する正しい理解を深め、人権感覚を身につけた市民の育成を図る。 <グループ数等> H30:45グループ (幼稚園:10 小学校:23 中学校:5 自主:7) ○ 人権教育巡回啓発講座事業(H30:16園) 他1園警報発令委のため中止 <目的> 幼児を持つ保護者を対象に人権問題についての講演を行うことにより、保護者の人権意識の高揚を図る。 <実施園> 公立幼稚園(10園) 私立幼稚園(6園) 講師:8名(人権教育指導者登録者のうち元学校長、大学講師等) ○ 人権・同和教育振興事業 <目的> 人権教育の振興のため、系統的・継続的な相互学習を進め、人権問題に対する正しい理解を深め、差別の解消を目指す市民の育成を図る。 <委託先> 尼崎市人権・同和教育研究協議会 <内容> ・研修会・講座・学習会 ・研究大会 ・指導者育成・研修活動・啓発活動・広域活動等</p>
前年 29 年度	<p>基本的人権が尊重される地域社会の形成に向け、人権啓発資料の作成・配布を行うとともに学習会・講演を実施し、市民の意識の高揚を図る。</p> <p>○ 市民啓発活動事業 <趣旨> 市民への、人権学習の普及、徹底を図るとともに、地域社会への人権学習活動の浸透を図るため、人権啓発資料を作成し配布する。 <内容> テーマ:冊子 やさしい社会をめざして「ダイバーシティ」(だれもが生きやすい暮らしやすい社会をめざして、違いを認め合い多様性を受け入れることの大切さを伝えている。) <執筆> 大阪府立大学 ダイバーシティ研究環境研究所 特認准教授 巽 真理子氏 <発行部数等> 91,000部 市内各学校・園(所)、その他公共施設等及び市民向け回覧用に配布。 ○ 学習資料の発行事業「あけぼの」 <趣旨> 人権問題について学習する小集団学習者に教材を提供することにより学習効果を高める。 <作成部数等> 1,100部 小集団学習者 幼稚園、小・中学校その他教育機関等 ○ 人権週間のつどい事業(人権週間・街頭啓発活動・冊子「じんけん」) <目的> 人権週間の記念行事を開催することにより、世界人権宣言の精神に学び人権の内容を正しく理解し、人権の尊さについて市民に考える機会を提供し、人権思想の普及高揚を図る。人権週間のつどいにおいて表彰される、中学生の人権作文及び小学生の人権書道(硬筆)の作品集として、冊子「じんけん」を作成する。 <作成部数等> 850部 人権週間のつどい参加者及び市内中学校・小学校及び公民館等社会教育施設へ配布 ○ 人権教育小集団学習事業 <目的> 人権問題の解決のため、市内の自主的小集団学習グループに事業を委託し、系統的・継続的な相互学習を進め、市民の人権問題に対する正しい理解を深め、人権感覚を身につけた市民の育成を図る。 <グループ数等> H29:48グループ (幼稚園:13 小学校:23 中学校:6 自主:6) ○ 人権教育巡回啓発講座事業(H29:18園) 他1園警報発令委のため中止 <目的> 幼児を持つ保護者を対象に人権問題についての講演を行うことにより、保護者の人権意識の高揚を図る。 <実施園> 公立幼稚園(13園) 私立幼稚園(5園) 講師:7名(人権教育指導者登録者のうち元学校長、大学講師等) ○ 人権・同和教育振興事業 <目的> 人権教育の振興のため、系統的・継続的な相互学習を進め、人権問題に対する正しい理解を深め、差別の解消を目指す市民の育成を図る。 <委託先> 尼崎市人権・同和教育研究協議会 <内容> ・研修会・講座・学習会 ・研究大会 ・指導者育成・研修活動・啓発活動・広域活動等</p>

40 別紙

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	教育委員会事務局	課	社会教育課	事業番号	2126
事業概要 (PLAN)		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか			
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し				
方針	1 学校等における男女共同参画の推進				重点方針 <input type="radio"/>
施策の方向	2 学校教育等における男女共同参画意識の向上				
事業番号/ 事業名	2126 人権啓発リーダー育成事業				
事業内容	児童・生徒・幼児の保護者等の男女共同参画を含めた人権学習の推進を図るため、市民グループリーダーの育成及び指導者等を派遣する。				
30年度に向けた 方向性 (PLAN)	<p>【課題】 人権教育指導者や人権啓発推進リーダーが高齢化している。平成30年度は、新たに人権教育指導者については2名の登録者、人権啓発推進リーダーについては1名の委嘱者を任命することができたが、まだ全体的には新たな人材発掘が必要である。</p> <p>【今後の方向性】 市民一人ひとりの人権が尊重され、自己実現に向けて生きる力や喜びが感じられる社会をつくるため、人権啓発推進リーダーや人権教育指導者を活用した活発な活動が今後も必要である。人権教育指導者や人権啓発推進リーダーの新たな人材の発掘や、より多くの市民に学ぶ機会を提供するために、活動の領域や派遣方法等について検討が必要である。</p>				
参考	関連する計画	尼崎市人権教育・啓発推進基本計画			
実施内容	(DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。			
30 年度	別紙参照	評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容			
		男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について			
課題		(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。			
前年 29 年度		<p>人権教育指導者や人権啓発推進リーダーが高齢化している。令和元度に向けて、人権教育指導者については1名の登録者、人権啓発推進リーダーについては2名の委嘱者を新たに発掘することができたが、まだ全体的には新たな人材発掘が必要である。</p>			
今後の方向性		(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。			
		<p>市民一人ひとりの人権が尊重され、自己実現に向けて生きる力や喜びが感じられる社会をつくるため、人権啓発推進リーダーや人権教育指導者を活用した活動が今後も必要である。 人権教育指導者や人権啓発推進リーダーの新たな人材の発掘や、より多くの市民に、学ぶ機会を提供するために、情報の提供方法や派遣方法等について検討が必要である。</p>			

41 別紙

2126 別紙

実施内容	
30 年度	<p>市民の人権学習に際し、助言するリーダーを育成することにより、市民の学習の促進と充実を図る。</p> <p>○ 人権啓発オピニオンリーダー設置事業</p> <p>《目的》人権問題の解決をめざし、自主的に学習する市内の市民グループの中からオピニオンリーダーを委嘱することにより、各グループにおける学習の活性化を図り、学習活動を促進し、人権教育の推進を図る。</p> <p>《委嘱者数》H30:委嘱者数45人</p> <p>○ 人権啓発オピニオンリーダー研修事業</p> <p>《目的》市民に対する人権教育の浸透を図るため、学習の推進等の活動を行う。</p> <p>《活動》毎月1回、各地区公民館にて開催される学習会に参加。</p> <p>《内容》「女性の人権」(それぞれが感じている女性の人権問題等について)「LGBT」(性の多様性について)「子どもの人権」(児童虐待等の実態から子どもの人権を考える)等をテーマに研修会を実施した。</p> <p>○ 人権教育指導者派遣事業</p> <p>《目的》各種市民団体、グループからの要請に基づき、人権教育指導者を講師として派遣することにより、人権教育の正しい理解と学習活動を促進し、人権教育の推進を図るものとする。</p> <p>《登録講師》H30:13人(人権についての見識と情熱を持ち、豊富な実戦経験を有する者)</p> <p>《派遣回数》H30:17回(公民館 地区会館、地域総合センター、女性センターテレビ等)</p> <p>○ 人権啓発推進リーダー設置事業等</p> <p>《目的》人権問題の解決を目指し、地域における啓発活動の推進と人権教育の指導体制の強化を図るため、尼崎市人権啓発推進リーダーを置く。人権学習自主グループに対し、助言者として派遣することにより、市民の人権学習の充実・発展を図る。</p> <p>《委嘱者数》H30:委嘱者13人(派遣等回数:491回研修会を含む)</p>
前年 29 年度	<p>市民の人権学習に際し、助言するリーダーを育成することにより、市民の学習の促進と充実を図る。</p> <p>○ 人権啓発オピニオンリーダー設置事業</p> <p>《目的》人権問題の解決をめざし、自主的に学習する市内の市民グループの中からオピニオンリーダーを委嘱することにより、各グループにおける学習の活性化を図り、学習活動を促進し、人権教育の推進を図る。</p> <p>《委嘱者数》H29:委嘱者数48人</p> <p>○ 人権啓発オピニオンリーダー研修事業</p> <p>《目的》市民に対する人権教育の浸透を図るため、学習の推進等の活動を行う。</p> <p>《活動》毎月1回、各地区公民館にて開催される学習会に参加。</p> <p>《内容》「多文化共生社」(様々なルーツ(文化)を持つ人々との共生について)「LGBT」(性の多様性について)「暮らしの中の法律相談」(女性の家事労働等身近な問題について)等をテーマに研修会を実施した。</p> <p>○ 人権教育指導者派遣事業</p> <p>《目的》各種市民団体、グループからの要請に基づき、人権教育指導者を講師として派遣することにより、人権教育の正しい理解と学習活動を促進し、人権教育の推進を図るものとする。</p> <p>《登録講師》H29:12人(人権についての見識と情熱を持ち、豊富な実戦経験を有する者)</p> <p>《派遣回数》H29:13回(地区会館、地域総合センター、女性センターテレビ)</p> <p>○ 人権啓発推進リーダー設置事業等</p> <p>《目的》人権問題の解決を目指し、地域における啓発活動の推進と人権教育の指導体制の強化を図るため、尼崎市人権啓発推進リーダーを置く。人権学習自主グループに対し、助言者として派遣することにより、市民の人権学習の充実・発展を図る。</p> <p>《委嘱者数》H29:委嘱者13人(派遣等回数:542回研修会を含む)</p>

41 別紙

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	教育委員会	課	学校教育課、学び支援課	事業番号	2131																	
事業概要 (PLAN)	基本目標 2 社会の制度・慣行等の見直し 方針 1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 ○ 施策の方向 3 学校教育等におけるメディアリテラシー(情報教育)の向上(情報モラルを含む) 事業番号/事業名 2131 メディアリテラシー教育(情報教育)の推進 事業内容 インターネットをはじめとする様々なメディア情報について、男女の役割の固定化や人権を侵害する表現がみられることなど、その特性と危険性を理解し、情報を適正に判断し活用する能力を身につけるメディアリテラシー教育(情報教育)を推進する。 30年度に向けた方向性 (PLAN) <small>【課題】 【学校教育課】メディアリテラシーについては、児童生徒にとって身近な課題となっている。 【教職員の学び支援課】児童生徒のICT環境が日々変化し、活用方法も多岐にわたることから、研修内容についても対応していく必要がある。 【今後の方向性】 【学校教育課】今後も継続して取組を進める。 【教職員の学び支援課】今後も教員対象に、新たなICT機器の活用に伴う課題に対応する情報モラル研修講座等を実施し、インターネットをはじめ様々なメディアで見られる、男女の役割の固定化や人権を侵害する表現について、教員自身が適切に指導できるようにすることで、児童生徒が、正しい情報モラルを身につけられるようメディアリテラシー教育を推進する。</small>																					
参考	関連する計画																					
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。																					
30年度	別紙参照	評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓																			
前年	別紙参照	評価2	(CHECK) 数値目標 目標項目 メディアリテラシー(情報教育)に関する教職員研修の実施回数【教職員の学び支援課】 目標・実績 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th>目標値</th> <th>年2回</th> <th>達成年度</th> <th>33年度</th> <th>29年度</th> <th>6回</th> <th>30年度</th> <th>6回</th> </tr> <tr> <td>実績の評価</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td>備考</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>				目標値	年2回	達成年度	33年度	29年度	6回	30年度	6回	実績の評価	<input checked="" type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考		
目標値	年2回	達成年度	33年度	29年度	6回	30年度	6回															
実績の評価	<input checked="" type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考																	
		評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について																			
		課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。																			
		今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。 【学校教育課】 生徒がインターネットの特性と危険性を理解し、活用する能力を身につけられるよう今後も継続して取組を進める。 【学び支援課】 ケータイを通じたSNS上のトラブルなど、児童生徒が直面する課題を取り上げて研修内容に盛り込んでいきたい。																			

実施内容	
30 年度	<p>【学校教育課】 市立小・中・高等学校において、メディアリテラシーに係る研修会や授業の中で話し合いの場を設ける等の学習を行った(小学校41校/41校、中学校18校/18校、高等学校3校/3校、特別支援学校0校/1校)。 (内容)</p> <p>○外部講師を招き、ネット・スマホについての講演会を児童生徒、保護者、地域に向けてを開催した。 ・児童生徒と保護者が、スマートフォンや携帯の利用に関連するトラブルやネット犯罪を未然に防ぐための対処法を学ぶ講座 ・ネット上のルールを守る意識の向上と、犯罪の実態を知り、予防策・対処法を学ぶ講座 等</p> <p>【講師】 ・県警サイバー犯罪対策課 ・LINE株式会社 ・携帯会社 ・兵庫県セキュリティサポーター ・NTT ・大学教授等</p> <p>○人権教育(道徳の時間を活用)において、人権教育資料「ほほえみ」「きらめき」活用し、情報モラルに関する授業を実施した。</p> <p>【学び支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年目教員必修研修 第1回(平成30年4月24日、講師:小谷隆宏指導員) テーマ「尼崎市のICT環境」 ・1年目教員必修研修 第2回(平成30年5月22日、5月29日、講師:小谷隆宏指導員、藤井俊史指導員) テーマ「校務支援システムの活用、情報モラル教育、教科指導におけるICTの活用」 ・1年目教員必修研修 第9回(平成30年9月18日、講師:小谷隆宏指導員、藤井俊史指導員) テーマ「教科等の指導におけるICT活用」 ・小学校ICT活用研修講座(平成30年8月6日、講師:小谷隆宏指導員) テーマ「コンピュータ室のタブレット端末及びソフトウェアを活用した授業について」 ・中学校ICT活用研修講座(平成30年8月8日、講師:藤井俊史指導員) テーマ「コンピュータ室の機器を活用した授業について」 ・情報モラル・セキュリティ研修講座(平成30年8月7日、講師:阪神教育事務所 櫻木 雅哉 指導主事) テーマ「情報モラル教育実践と情報セキュリティについて」
前年 29 年度	<p>【学校教育課】 市立小・中・高等学校において、メディアリテラシーに係る研修会や授業の中で話し合いの場を設ける等の学習を行った(小学校41校/41校、中学校18校/18校、高等学校3校/3校、養護学校1校/1校)。 (内容)</p> <p>○外部講師を招き、ネット・スマホについての講演会を児童生徒、保護者、地域に向けてを開催した。 ・児童生徒と保護者が、スマートフォンや携帯の利用に関連するトラブルやネット犯罪を未然に防ぐための対処法を学ぶ講座 ・ネット上のルールを守る意識の向上と、犯罪の実態を知り、予防策・対処法を学ぶ講座 等</p> <p>【講師】 ・県警サイバー犯罪対策課 ・LINE株式会社 ・携帯会社 ・兵庫県セキュリティサポーター ・NTT 等</p> <p>○人権教育(道徳の時間を活用)において、人権教育資料「ほほえみ」「きらめき」活用し、情報モラルに関する授業を実施した。</p> <p>○学校だより等でメディアリテラシーに関する啓発を行った。</p> <p>【教職員の学び支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年目教員必修研修 第1回(平成29年4月25日、講師:小谷隆宏指導員) テーマ「尼崎市のICT環境」 ・1年目教員必修研修 第3回(平成29年5月23日、6月20日、27日、講師:小谷隆宏指導員、藤井俊史指導員) テーマ「校務支援システムの活用、情報モラル教育、教科指導におけるICTの活用」 ・1年目教員必修研修 第8回(平成29年9月26日、講師:寺嶋浩介准教授) テーマ「教科指導におけるICTの活用」 ・1年目教員必修研修 第10回(平成29年10月24日、11月14日、講師:小谷隆宏指導員、藤井俊史指導員) テーマ「教科等の指導におけるICT活用」 ・小学校ICT活用研修講座(平成29年8月7日、講師:小谷隆宏指導員) テーマ「コンピュータ室のタブレット端末及びソフトウェアを活用した授業について」 ・中学校ICT活用研修講座(平成29年7月31日、講師:藤井俊史指導員) テーマ「コンピュータ室の機器を活用した授業について」

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	教育委員会	課	学び支援課、社会教育課	事業番号	2132	
事業概要 (PLAN)						
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し					
方針	1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 ○					
施策の方向	3 学校教育等におけるメディアリテラシー(情報教育)の向上(情報モラルを含む)					
事業番号/事業名	2132 有害情報の規制					
事業内容	学校等においてインターネット上の有害情報の取扱いにかかる啓発・指導を行う。青少年に悪影響を及ぼす有害図書等の回収を実施する。カラオケ、レンタルビデオ店等の出店場所や青少年の集まりやすい場所の実態を把握するために「環境実態調査」を実施する。					
30年度に向けた方向性	<small>【課題】</small> <small>【教職員の学び支援課】</small> インターネット上の有害情報へはアクセスせず、学習に必要なさまざまな情報が得られるようにすることが必要である。 <small>【青少年課】</small> 近年、スマホ等インターネットの急速な普及により、青少年の問題行動が多様化、広域化しており、表面化しにくくなっている。 <small>【今後の方向性】</small> <small>【教職員の学び支援課】</small> 今後も有害情報に関しては、フィルタリングなどの物理的な対策を講じるとともに、教員研修の内容を充実させることで、児童生徒が安心して学習できる環境づくりに努める。 <small>【青少年課】</small> 補導委員に対して、改正される兵庫県青少年愛護条例(フィルタリング利用の強化、自画撮り勧誘行為の禁止、JKビジネスの規制)について研修を実施すると共に市民や学校・保護者に周知・啓発を行う。また、青少年の問題行動については、学校や地域・家庭との情報交換を密にし、連携の強化に努める。					
参考	関連する計画					
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。					
30年度	別紙参照					
前年29年度	別紙参照					
評価1		(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に		<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
を入れてください						
評価2		(CHECK) 数値目標				
目標項目						
目標・実績		目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
実績の評価		<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3		(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
		男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題		(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
【学び支援課】		インターネット上の有害情報がさまざまなメディアから発信されるため、フィルタリングの有効性を常に検証することが必要になる。				
【社会教育課】		スマホの急速な普及により青少年が加害者にも被害者にもなりうる事案が多発しており、また、表面化しにくくなっている。小学校などの問題行動が増加傾向にあり、非行の低年齢化がうかがえる。				
今後の方向性		(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
【学び支援課】		今後も有害情報に関しては、フィルタリングソフト等で対策を講じるとともに、教員の研修を充実させることで、児童生徒が安心して学習できる環境づくりに努める。				
【社会教育課】		青少年の問題行動については、学校や地域・家庭との情報交換を密にし、また、連携の強化を図る。補導委員に対しては、青少年愛護条例が改正されたことを機に、インターネット上の有害情報への対応の強化など、青少年愛護条例に関する研修を実施するとともに市民や学校・保護者に周知・啓発を行う。				

43 別紙

2132 別紙

実施内容	
30 年度	<p>【学び支援課】 学校で使用するパソコンには、有害コンテンツフィルタの設定を行っている。有害情報に係るカテゴリや削除フィルターの有効性を検証し、有害情報が適切に除去できているか適宜確認している。この機能を活用することで、児童生徒が性教育等に関する学習活動を行う場合でも、必要な情報を得ることも可能であり、正しい知識の習得につながっている。</p> <p>【社会教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○有害環境等実態調査を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・少年を取巻く有害環境等実態調査[調査期間]平成30年6月1日～6月30日 平成30年11月1日～11月30日 ・レンタルビデオ店、カラオケ店、ゲームセンター、有害図書類販売店、携帯電話販売店など店舗の現状調査を6月及び11月に実施。 ・環境調査集計表、迷惑ビラ回収状況をホームページに掲載。 ○11月啓発事業として阪急塚口駅周辺において、市民に対してネットの危険性や青少年に対するフィルタリング強化等を周知するチラシを配布するなど有害環境の浄化を目的とした、青少年健全育成・非行化防止・環境浄化キャンペーンを実施。 ○健全育成会議等において、保護者に対してネットの危険性やフィルタリング強化を周知するチラシを配布し啓発に努めた。 ○青少年に悪影響を及ぼす有害図書等の回収を実施。 <有害図書類の回収>回収期間：平成30年1月1日～12月末、累計：4,740冊(内ビデオ・DVD 2,087) ・市内6箇所(6行政区)に白ポストを設置。成人向け雑誌などの「有害図書類」を回収して青少年の有害環境浄化を実施。週に一度投函物を回収。 ・回収された投函物の分類や集計 兵庫県では、青少年愛護条例で、有害図書類の陳列の制限として①成人コーナーを設ける方法②一般図書類と距離を離す方法③一般図書類と仕切る方法④背表紙のみ見えるようにする方法⑤ビニール包装、紐かけ等の方法(上記の方法により、陳列が困難な場合)のいずれかの方法で陳列しなければならないことになっており、有害図書類を販売する全ての店舗(コンビニも含む)が対象となっている。 県の依頼により、毎年11月の環境調査月間に本市少年補導委員が調査を実施しているが、市独自の取組として、少年補導委員の協力を得ながら、6月にもコンビニなどで有害図書類の陳列の有無等について調査をすることにより、より一層の環境浄化の向上に取り組んでいる。 ○5月 尼崎市少年補導委員を対象に兵庫県企画県民部女性青少年部青少年課青少年指導班 東 浩太郎氏を講師に「青少年愛護条例の改正について」と題して研修会を実施。 ○10月 アルカイクホールオクトにおいて兵庫県青少年補導委員大会を実施。県内補導委員に対して弁護士 曾我 智史氏を講師に「虐待と非行のはざま」と題して研修会を実施。
前年 29 年度	<p>【教職員の学び支援課】 学校で使用するパソコンには、有害コンテンツフィルタの設定を行っている。有害情報に係るカテゴリの追加や削除フィルターの拡張により、有害情報の除去に関して、より細やかな設定を行うことが可能である。この機能を活用することで、学習として児童生徒が性教育等を学ぶ場合、必要な情報を得ることも可能であり、正しい知識の習得につながっている。</p> <p>【青少年課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○有害環境等実態調査を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・少年を取巻く有害環境等実態調査>調査期間：平成29年 6月1日～ 6月30日 平成29年11月1日～11月30日 ・レンタルビデオ店、カラオケ店、ゲームセンター、有害図書類販売店など店舗の現状調査を6月及び11月に実施、今年度より携帯電話店舗調査を追加した。 ・環境調査集計表、迷惑ビラ回収状況をホームページに掲載 ○11月啓発事業として阪神尼崎駅周辺において、市民に対してネットの危険性や青少年に対するフィルタリング強化等を周知するチラシを配布するなど有害環境の浄化を目的に、青少年健全育成・非行化防止・環境浄化キャンペーンを実施 ○健全育成会議等において、保護者に対してネットの危険性やフィルタリング強化を周知するチラシを配布し啓発に努めた。 ○青少年に悪影響を及ぼす有害図書等の回収を実施 <有害図書類の回収>回収期間：平成29年 1月 1日～12月末、累計：5,793冊(内ビデオ・DVD 2,720) ・市内6箇所(6行政区)に白ポストを設置 ・成人向け雑誌などの「有害図書類」を回収して青少年の有害環境浄化を実施 ・投函物は週に一度回収 ・回収された投函物の分類や集計 兵庫県では、青少年愛護条例で、有害図書類の陳列の制限として、①成人コーナーを設ける方法②一般図書類と距離を離す方法③一般図書類と仕切る方法④背表紙のみ見えるようにする方法⑤ビニール包装、ひも掛け等の方法(上記の方法により、陳列が困難な場合)のいずれかの方法で陳列しなければならないことになっており、有害図書類を販売する全ての店舗(コンビニも含む)が対象となっている。 県の依頼により、毎年11月の環境調査月間に本市少年補導委員が環境調査を実施しているが、市独自の取組として、少年補導委員の協力を得ながら、6月にもコンビニなどで有害図書類の陳列の有無等の環境調査を実施することにより、より一層の環境浄化の向上に取り組んでいる。 ○5月 尼崎市少年補導委員役370人を対象に総務省近畿総合通信局企画監理官 伊藤 賢治氏を講師に「インターネットの安全な使い方」と題して研修会を実施

43 別紙

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	総合政策局	課	広報課、ダイバーシティ推進課	事業番号	2211
---	-------	---	----------------	------	------

事業概要 (PLAN)	
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	2 社会全般における男女共同参画の推進 重点方針 ○
施策の方向	1 広報啓発等を通じた男女共同参画の推進(メディアリテラシー含む)
事業番号/ 事業名	2211 市報、市政TV、FM放送による広報、啓発
事業内容	市報あまがさきをはじめ、あらゆる広報媒体を活用し、男女共同参画に対する理解を深める啓発を行う。
30年度に 向けた 方向性 (PLAN)	【課題】 【発信・報道担当】紙媒体の広報物については、掲載するテーマが男女共同参画、DV、人権、福祉等数多くある一方、市の様々な情報を発信するためにはその掲載量に(電子媒体とは異なり)物理的な限界がある。 【ダイバーシティ推進課】市報等に掲載して欲しいテーマが多くあるが、ページ数に限界がある。 【今後の方向性】 【発信・報道担当】インターネット媒体の活用が広まる中、今後は、紙面で見た方がわかりやすい情報については紙媒体を、そのほかの情報についてはホームページを活用するなど、目的に応じた有効な広報手段の使い分けを進めていくこととした。 【ダイバーシティ推進課】市報やホームページ等様々な媒体を活用し、男女共同参画に関する広報、啓発を行っていく。
参考	関連する計画
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。
30年度	【広報課】 ・市報掲載回数 25回 女性センター事業等を掲載。 ・FM放送回数 1回 女性センター事業を案内。 ○市報掲載回数25回の内訳 女性センター事業 23回 ・あまがさき女性フォーラム・あまがさき女性フェスティバル・あまがさき女性スキルアップ講座等 それ以外 2回 【前からH30.5・12月号】 ・男女共同参画審議会委員募集・男女共同参画事業者募集 ○FM放送回数1回の内訳 女性センター事業の案内 1回 ・女性センターの職員が出演し、女性フェスティバルについて紹介。 ※29年度まで「市からのお知らせ」コーナーで様々なイベントを紹介していたが、30年度よりルールを変更し、市の新しい制度や制度の変更等を優先的に周知することとした。 【ダイバーシティ推進課】 ○平成30年8月の市報において、男女共同参画審議会会長として男女共同参画計画などの策定に携わった立木茂雄氏の表彰について掲載した。また、11月号の市報においてPick up情報としてあまがさき女性フォーラムを掲載した。 ○FMスポット放送 平成30年6月18日(月)～24日(日)女性の人権について、31年1月21日(月)～27日(日)まで性的マイノリティについて、1日3回スポット放送した。
前年 29年度	【発信・報道担当】 ・市報掲載回数 26回 女性センター事業等を掲載。 ・FM放送回数 18回 女性センター事業を案内。 ○市報掲載回数26回の内訳 女性センター事業 23回 ・あまがさき女性フォーラム・男女共同参画市民企画講座を募集・その他女性のスキルアップ講座等 それ以外 3回 【すべてH29.6月号】 ・男女共同参画週間事業「防災・復興に男女共同参画の視点を」男女共同参画認定事業者を認定しました・男女共同参画認定事業者を募集 ○FM放送回数18回の内訳…すべて女性センター事業。 市報と同様に女性センターの男女共同参画などをタイミング良く(数日～1週間前)放送し、参加促進に努めた。 以上のとおり、男女共同参画や女性の活躍推進に関する取組を広報することで、男女共同参画に対する理解促進のきっかけとした。 【ダイバーシティ推進課】 ・平成29年6月の市報において、「男女共同参画週間」の周知を行うとともに、「尼崎市男女共同参画推進事業者」の紹介や「男女共同参画推進員」の募集を行った。 ・FMスポット放送 29年6月19日(月)～25日(日)まで1日3回スポット放送 女性の人権について放送した

評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか					
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓					
	を入れてください					
評価2	(CHECK) 数値目標					
目標項目						
目標・実績	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度	
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考	
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容					
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について					
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。					
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。					
【広報課】	紙媒体の広報物については、掲載するテーマが男女共同参画、DV、人権、福祉等数多くある一方、市の様々な情報を発信するためにはその掲載量に(電子媒体とは異なり)物理的な限界がある。 【ダイバーシティ推進課】 市報等への掲載について、ページ数や機会に限界がある中で、啓発効果のある掲載方法等の工夫が必要である。					
【広報課】	インターネット媒体の活用が広まる中、引き続き、紙面で発信した方がわかりやすい情報については紙媒体を、そのほかの情報についてはホームページを活用するなど、目的に応じた有効な広報手段の使い分けや情報発信力の強化などを進めていくこととした。 【ダイバーシティ推進課】 市報やホームページ等様々な媒体を活用し、男女共同参画に関する広報、啓発を行っていく。					

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	総合政策局	課	ダイバーシティ推進課	事業番号	2212
事業概要 (PLAN)	評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し				
方針	2 社会全般における男女共同参画の推進				重点方針 <input type="radio"/>
施策の方向	1 広報啓発等を通じた男女共同参画の推進(メディアリテラシー含む)				
事業番号/事業名	2212 男女共同参画に関する情報の発信				
事業内容	情報誌「フェミナル」を作成・配布するとともに、ホームページ等で、女性センター事業や男女共同参画に関する施策、法令等・制度の情報をあらゆる年代にわかりやすく提供し周知を行う。また、情報発信の媒体の活用方法についても工夫していく。				
30年度に向けた方向性 (PLAN)	【課題】 分かりやすい情報発信を行う必要がある。 【今後の方向性】 ・広報誌『フェミナル』は特集の組み方などを工夫し、市民編集サポーターとともに特徴ある紙面づくりを続けていく。 ・今後も情報誌づくりセミナーを行い広く市民から市民編集サポーターを募集するとともに、男女共同参画推進員からの参画も促していく。 ・ホームページは情報提供とともに閲覧しやすい環境を整えるよう努める。				
参考	関連する計画				
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
30年度	【女性センター】 ●情報誌 男女共同参画情報誌『フェミナル』を発行。市内公共施設、全国女性センター、市内小中高校、幼稚園等に配布し、ホームページにも掲載。 年2回発行 各4,000部 毎月時事にあった特集を組み読みやすく親しみやすい紙面構成を追及している。 62号「多様な性について、考えよう!」、63号「女性の参画を進めよう!」 市民協働の形として編集サポーターの協力を得て、企画や取材を行った。 ●メールマガジン 毎月1日発行 ※登録者数288人 ●ホームページ 講座情報、スタッフブログ、新着図書情報、カフェブログなどほぼ毎日更新。 30年度より、事業報告書をホームページに掲載した。 ●フェイスブック 平成26年度に開設し、テレビエの各種情報を発信している。 ●あまっこネット 講座情報を配信している。				
前年29年度	【女性センター】 ●情報誌 男女共同参画情報誌『フェミナル』を発行。市内公共施設、全国女性センター、市内小中高校、幼稚園等に配布し、ホームページにも掲載。 年2回発行 各4,000部 毎月時事にあった特集を組み親しみやすい紙面構成を追及している。 60号「災害に備えよう～防災グッズ・男女共同参画の視点で避難所づくり」、61号「子育て世代の男性のワーク・ライフ・バランス」 市民協働の形として編集サポーターの協力を得て、企画や取材を行った。 ●メールマガジン 毎月1日発行 ※登録者数269人 ●ホームページ 講座情報、スタッフブログ、新着図書情報、カフェブログなどほぼ毎日更新。 ●フェイスブック 平成26年度に開設し、テレビエの各種情報を発信している。 ●あまっこネット 講座情報を配信している。				
評価2 (CHECK) 数値目標	目標項目 目標・実績 目標値 達成年度 年度 29年度 30年度 実績の評価 <input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った 備考				
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
今後の方向性 (ACTION)	※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。 ・広報誌『フェミナル』は特集の組み方などを工夫し、市民編集サポーターとともに特徴ある紙面づくりを続けていく。 ・今後も情報誌づくりセミナーやメディアリテラシー講座等を行い広く市民から市民編集サポーターを募集する。 ・ホームページは情報提供とともに閲覧しやすい環境を整えるよう努める。				

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	総合政策局	課	ダイバーシティ推進課	事業番号	2213
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
をに入れてください					
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
	【ダイバーシティ推進課】男女共同参画の視点をもった適切な表現については職員によって意識に差がある。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	【ダイバーシティ推進課】 ・今後とも新規採用職員全員を対象とした研修を活用し、男女共同参画の視点から適切ではない表現について話し合うとともに、市職員として男女表現ガイドラインを意識した情報発信を行うよう促していく。 ・様々な機会をとらえてガイドラインを活用した周知やアドバイスを行っていく。 ・男女共同参画に配慮したイラストの活用については、他自治体からの提供依頼にも応じていく。 (女性センター) ・性の商品化や性別役割分担意識を助長する表現などに対して、主体的に読み解く能力を身につけられるよう講座セミナーを通じて啓発を行っていく。 ・市民企画講座企画グループに、男女共同参画の視点からの表現について理解が深まるように努めていく。				

事業概要	(PLAN)		
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し		
方針	2 社会全般における男女共同参画の推進	重点方針	<input type="radio"/>
施策の方向	1 広報啓発等を通じた男女共同参画の推進(メディアリテラシー含む)		
事業番号/事業名	2213 表現ガイドラインの活用とメディアリテラシーの普及		
事業内容	男女共同参画の視点から適切な男女表現が行われるよう「男女表現ガイドライン」の活用を職員以外にも広く促進するとともに、性の商品化や性別役割分担意識を助長する表現などに対して、主体的に読み解く能力を身につけられるよう啓発を行う。		
30年度に向けた方向性	【課題】 【ダイバーシティ推進課】男女共同参画の視点をもった適切な表現については職員によって意識に差があるため、表現ガイドラインの周知が必要と考えている。 【今後の方向性】 【ダイバーシティ推進課】職員研修等の場など様々な機会をとらえて活用して周知を行っていく。 ・男女共同参画に配慮したイラストの活用については、他自治体からの提供依頼にも応じていく。 (女性センター)・性の商品化や性別役割分担意識を助長する表現などに対して、主体的に読み解く能力を身につけられるよう講座セミナーを通じて啓発を行っていく。		
参考	関連する計画		
実施内容	(DO) ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。		
30年度	【ダイバーシティ推進課】 策定から12年が経過していることから、内容をリニューアルし、職員へ改めて男女表現についての意識啓発を図るため、平成27年3月に改訂を行った。職員有志からなるワーキンググループで検討し、女性センター・トレピエや県立男女共同参画センターのアドバイスを受けて作成。 「気をつけて見てみよう」という標題で、「男女いずれかに偏った表現になっていませんか?」「性別によってイメージを固定化した表現になっていませんか?」など5つの視点に分けて記載。イラストも明るくポップなものにリニューアル。イラストは、使用に関する規約を守れば誰でも無料で使用でき、ダイバーシティ推進課に連絡をすれば、データでの提供を可能とした。 これまで、尼崎市職員が使用する掲示板に記載、企画管理課長会や職員研修にて周知し活用を依頼、県の男女共同参画ニュースや会議においても周知し、利用を促した。29年度は男女共同参画推進本部幹事会において、表現ガイドラインの周知を行った。 ・毎年、新規採用職員を対象とした男女共同参画についての研修において、身近にあるポスターやCMなどを使って男女共同参画の視点から適切ではない表現について話し合うとともに、市職員として男女表現ガイドラインを意識した情報発信を行うよう促している。 (女性センター) ・男女表現ガイドラインを館内に配架した。 ・市民企画講座等で採択された市民グループには、広報や講座実施の際に、男女共同参画の視点からの表現について周知を図っている。		
前年29年度	【ダイバーシティ推進課】 策定から12年が経過していることから、内容をリニューアルし、職員へ改めて男女表現についての意識啓発を図るため、平成27年3月に改訂を行った。職員有志からなるワーキンググループで検討し、女性センター・トレピエや県立男女共同参画センターのアドバイスを受けて作成。 「気をつけて見てみよう」という標題で、「男女いずれかに偏った表現になっていませんか?」「性別によってイメージを固定化した表現になっていませんか?」など5つの視点に分けて記載。イラストも明るくポップなものにリニューアル。イラストは、使用に関する規約を守れば誰でも無料で使用でき、ダイバーシティ推進課に連絡をすれば、データでの提供を可能とした。 これまで、尼崎市職員が使用する掲示板に記載、企画管理課長会や職員研修にて周知し活用を依頼、県の男女共同参画ニュースや会議においても周知し、利用を促した。29年度は男女共同参画推進本部幹事会において、表現ガイドラインの周知を行った。 (女性センター) ・男女共同参画の視点をもった連続防災講座・ワークショップ(講師:相川康子NPO政策研究所専務理事 受講者のべ49人)、みんなで考えよう避難所づくり(講師:災害対策課職員、トレピエ職員 受講者のべ45人)の中で啓発した。 ・男女表現ガイドラインを館内に配架した。		

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	総合政策局	課	広報課	事業番号	2214											
事業概要 (PLAN)	評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓															
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し															
方針	2 社会全般における男女共同参画の推進 重点方針 <input type="checkbox"/>															
施策の方向	1 広報啓発等を通じた男女共同参画の推進(メディアリテラシー含む)															
事業番号/事業名	2214 広報媒体における人権に配慮した男女表現の推進															
事業内容	市が発信する広報や出版物において、「尼崎市男女表現ガイドライン」を活用するなど人権に配慮した男女表現を推進する。															
30年度に向けた方向性 (PLAN)	【課題】 市報の掲載内容について、市民の活動の様子を撮影した表紙の写真に男性ばかりが写っており、その団体の活動実態が反映されておらず、男女表現の配慮に欠けているのではないかという意見を市民からいただいたことから、再発防止を図る必要がある。 【今後の方向性】 課内の編集会議において市民等からの意見を共有し、掲載記事の主管課等へ取材を依頼する段階から、様々な年齢層や性別などを対象にすることを意識しながら記事作成等の事務を進めていく。また、写真撮影をはじめとした取材時においては、年齢層や性別のバランスなどに配慮しながら、市内で活躍している人や団体等が持つ魅力的な姿を紹介できるように努めていく。															
参考	関連する計画															
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。															
30年度	・各課から男女表現に関する問い合わせがあった場合に、「男女表現ガイドライン」に沿ってアドバイスを行うとともに、パソコン配布職員が閲覧可能な「男女表現ガイドライン」の活用を促した。 具体的には、「どの写真を載せたらよいか」という問い合わせに対し、「男女のバランスが偏ることがないよう、男女ともに映っているほうが好ましい。詳しい事例は男女表現ガイドラインに掲載しています」というアドバイスを行った。 ・市報に掲載する文章の表現やイラストについて、男女共同参画の視点に配慮した。															
前年29年度	・各課から男女表現に関する問い合わせがあった場合に、「男女表現ガイドライン」に沿ってアドバイスを行うとともに、パソコン配布職員が閲覧可能な「男女表現ガイドライン」の活用を促した。 具体的には、「イラストで業務を表すアイコンを作成する場合に、配色や男女のバランス以外で注意すべきことはあるか」という問い合わせに対し、「役割や身につけているものを、性別で決めつけないこと、詳しい事例や参考イラストは同ガイドラインを参照すること」というアドバイスを行った。 ・市報に掲載する文章の表現やイラストについて、男女共同参画の視点に配慮した。															
評価2 (CHECK) 数値目標	目標項目 目標・実績 <table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> <tr> <td>実績の評価</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td>備考</td> </tr> </table>					目標値	達成年度	年度	29年度	30年度	実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
目標値	達成年度	年度	29年度	30年度												
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考											
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について															
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。															
今後の方向性 (ACTION)	※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。															
引き続き課内の編集会議において市民等からの意見を共有し、掲載記事の主管課等へ取材を依頼する段階から、様々な年齢層や性別などを対象にすることを意識しながら記事作成等の事務を進めていく。また、写真撮影をはじめとした取材時においては、年齢層や性別のバランスなどに配慮しながら、市内で活躍している人や団体等が持つ魅力的な姿を紹介できるように努めていく。																

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	総合政策局	課	ダイバーシティ推進課、生涯、学習！推進課	事業番号	2221
事業概要 (PLAN)	基本目標 2 社会の制度・慣行等の見直し 方針 2 社会全般における男女共同参画の推進 重点方針 ○ 施策の方向 2 学習活動を通じた男女共同参画の推進 事業番号/事業名 2221 男女共同参画セミナーの実施 事業内容 男女の固定的な役割分担意識を改め、男女共同参画社会づくりに資するセミナーを実施する。				
30年度に向けた方向性 (PLAN)	【課題】 【ダイバーシティ推進課】(女性センター) ・男女共同参画を推進する啓発セミナーの集客は、どの分野も難しい。 【市民活動推進課】男女共同参画の啓発講座の必要性は認識しているが、地区会館は主にレクリエーションの場を提供する施設として設置していることから事業数に限界がある中での工夫が必要である。 【中央公民館】公民館では幅広い分野を対象とした事業を実施しており、各種事業を企画する際に男女共同参画の視点を意識する必要がある。 【今後の方向性】 【ダイバーシティ推進課】(女性センター) ・様々な分野で男女共同参画について考えていただけるよう、参加対象者を定めて事業を進めていきたい。 ・有益な講座を開催するために、関係機関と連携が必要であると考えている。今後もすべての啓発講座に関して講座ネーミングやチラシの工夫、また広く市民に興味を引くような仕掛けづくり、市内公共施設・学校・NPOなど他の団体と連携・共催していくことを積極的に取り組んでいく。 【市民活動推進課】限られた事業数の中で、男女共同参画の視点を持って事業を企画できるよう、機会をとらえて男女共同参画の視点を持った事業がどのようなものかを指定管理者に説明していく。 【中央公民館】公民館の各種事業について、男女共同参画の視点を考慮して事業を実施していく。				
参考	関連する計画				
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
30年度	別紙参照	評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか		
		実施できた項目に	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓		
		を入れてください			
		評価2	(CHECK) 数値目標		
		目標項目			
		目標・実績	目標値	達成年度	年度 29年度 30年度
		実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/> 下回った 備考
		評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容		
			男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について		
		課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。		
前年 29年度	別紙参照	今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。		
			【ダイバーシティ推進課】(女性センター) 集客を意識しつつ啓発を進めたいテーマを選定することが必要である。 【生涯、学習！推進課】生涯学習プラザでは、幅広い分野を対象とした事業を実施しており、各種事業を企画する際に、男女共同参画の視点を意識する必要がある。 【ダイバーシティ推進課】(女性センター) ・様々な分野で男女共同参画について考えていただけるよう、参加対象者を定めて事業を進めていきたい。 ・有益な講座を開催するために、関係機関と連携が必要であると考えている。今後もすべての啓発講座に関して講座ネーミングやチラシの工夫、また広く市民に興味を引くような仕掛けづくり、市内公共施設・学校・NPOなど他の団体と連携・共催していくことを積極的に取り組んでいく。 【生涯、学習！推進課】生涯学習プラザの各種事業について、男女共同参画の視点を考慮して事業を実施していく。		

実施内容	
30 年度	<p>【ダイバーシティ推進課】 (女性センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「あまがさき女性フォーラム」を開催。(参加者数:のべ867人)男性28人 女性194人 不明645人 ワークショップ:「話そう!男女共同参画ワールドカフェ」計21人 男性3人 女性18人」「防災体験ワークショップ~家族で楽しく備えよう~」計20人 男性4人 女性16人」「大学生といっしょに考えるデートDV防止セミナー」計17人 男性1人 女性16人」「ギャラリー展」映画上映:「ドリーム」計86人 男性10人 女性72人 不明4人) ○男女共同参画週間事業「ぶっちゃけ夫婦へく」(講師:露の団姫、参加者数:計141人 男性22人 女性116人 不明3人) ○男女共同参画市民企画講座「アサーティブに!私の気持ちを伝えよう」(講師:NPO法人フェミニストカウンセリング神戸所属カウンセラー 参加者数:のべ120人 女性限定30人) ○あまがさき女性フェスティバル記念講演会「地域で応援!シングル・シングルマザーの就労支援」(講師:佐々木妙月 参加者数:計57人 男性3人 女性53人 不明1人) ○「働き方からみる経済学」(講師:渡辺裕子、笠井弘子 参加者数:のべ44人 女性限定22人) ○「ワーク・ライフ・バランスを阻むものは~若年男性の意識をめぐって~」(講師:中里 英樹 参加者数:のべ27人 男性2人 女性25人) ○「夫源病」(講師:石蔵文信 参加者数:20人 男性12人 女性8人) ○「働く母親を応援する 男性・子どもの生活自立支援 パパといっしょにクッキング!」(講師:小寺純子 参加者数:のべ12組28人 男性20人 女性8人) ○「パパの家事は家族を救う!~より良いパートナーシップのために~」(講師:和田のりあき 参加者数:5組8人 男性4人 女性9人) ○「保育に携わる人のためのスキルアップ講座」(講師:辻由起子、テレビエ職員 参加者数:31人 男性0人 女性31人) ○「ふきとばそう! 保育所・児童ホームの不安」(講師:子ども何でも相談担当職員 参加者数:のべ46人 男性3人 女性43人) ○「絵本でほっこりinカフェテレビエ」(講師:NPO法人絵本で子育てセンター 参加者数:のべ59人 男性11人 女性48人) ○「子どもを預けて読書でリラックスタイム」(参加者数:のべ71人 男性0人 女性71人) ○「パパのための子どもを預けて読書でリラックスタイム」(参加者数:3人 男性3人) ○「ジェンダー&アートカフェ」(講師:中西美穂 参加者数:8人 男性1人 女性7人) 他 (地域総合センター) ○地域総合センター「ぶっちゃけ夫婦とへく」(講師:露の団姫) ○地域総合センター南武庫之荘「ハートフル・シネマ 人権問題市民啓発映画会 あした咲く」 ○地域総合センター水堂「初心者向け男のええ加減料理教室」(講師:石倉文信) ○地域総合センター水堂「楽しい孫育てライフの送り方」(講師:石倉文信) ○地域総合センター神の島「露の団姫 落語&講演会」(講師:露の団姫) ○地域総合センター神崎だよりにおいて「人権の獲得~女性参政権の歴史~」「史跡 遊女塚と女性の人権」を掲載 【中央公民館】 ・パパは太鼓の達人 2/23・2/24の2回実施。参加:1組(申し込みは3組) ・親子ボランティア体験学習事業 8/6 受講者14人(男性3人 女性11人)※社会教育課との共催事業
前年 29 年度	<p>【ダイバーシティ推進課】 (女性センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「あまがさき女性フォーラム」を開催。(参加者数:のべ755人)男性21人 女性197人 不明537人 ワークショップ:「学習支援を通じた子どもの居場所づくり」計30人 男性7人 女性23人」「私らしいエンディングを考える」計36人 男性1人 女性35人」「大学生といっしょに考える防災セミナー」計24人 男性5人 女性19人」「ギャラリー展」映画上映:「彼らが本気で編むときは、」計128人 男性8人 女性120人) ○男女共同参画週間事業「防災・復興に男女共同参画の視点を」(講師:浅野 幸子、稲村 和美 参加者数:計95人男性25人 女性70人) ○男女共同参画市民企画講座「知的障害・自閉症疑似体験ワークショップ~知的障害ってなんだろう?どうして不思議な行動をするの?~」(講師:井上 三枝子、まんまるはーと 参加者数:計57人 男性12人 女性45人) ○あまがさき女性フェスティバル記念講演会「めんどくさいことを手放さない暮らし」(講師:下之坊 修子 参加者数:計101人 男性7人 女性92人 不明2人) ○働く母親を応援する 男性・子どもの生活自立支援事業「キッズクッキング&ママリラックス」(講師:小寺 純子、栗岡 多恵子 受講者12組27人 子ども男性5人 女性22人内こども10人) ○パパの家事は家族を救う!~より良いパートナーシップのために~(講師:和田 憲明 受講者10組大人 男性10人 女10人) ○ジェンダー&アートツアー(講師:中西美穂 大阪アートマネジメント学会 受講者14人 女性14人) ○浜矩子の経済集中講座どうなる?わたしたちのくらし(講師:浜矩子 同志社大学大学院ビジネス研究科教授 受講者175人 男性52人 女性112人 不明11人) ○出張!女性のための働き方セミナー 働く女性のためのタイムマネジメント(講師:森本 紀子 受講者11人 女性限定:兵庫県立男女共同参画センター・イーブン登録の講師であり、女性限定で本音でグループトークを行い、ジェンダーの気づきを促す狙いがあるため) ○おしゃべりカフェ 女性の起業支援! 起業に向けて大切なこと(講師:藤村 絵理香、森 茂治 受講者10人 女性限定:女性の就労支援のため) 他 【市民活動推進課】実施無し 【中央公民館】 ○小田公民館 人権推進講座 12/9「こどもへの性暴力を防ぐために、今、尼崎に必要な性教育。」 (講師:性暴力被害者支援センター・ひょうご代表 田口奈緒氏 受講者:25人(男性:12人、女性:13人))※地域総合センター神崎との共催事業 ○小田公民館 地域・現代学講座(地域おでかけ事業) 1/2「デコホイッスルづくり~楽しく学ぶ防災・防犯~」(講師:女性センターテレビエ 岩田さやか氏 受講者16人(男性:3人、女性:13人))※女性センターテレビエとの共催事業 ○立花公民館 地域・現代学講座(地域おでかけ事業) 2/14~2/28 回数3回「みんなで考えよう避難所づくり」 受講者45人(男性24人、女性21人) 3/19 回数1回「地域のまちづくりをみんなで学ぼう!」~立花地区を例として~ 受講者43人(男性25人、女性18人)

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	総合政策局	課	ダイバーシティ推進課	事業番号	2222
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
	を入れてください				
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について					
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
・男女共同参画の視点ある保育を周知するため、一時保育事業に携わる保育サポーターのスキルアップ講座を実施し、受講者に託児サポーターの求人について紹介をする等、人材の確保に努める。 ・通常の保育サポーター登録は、年1回であるが、保育サポーターからの紹介者に限っては、男女共同参画の視点での保育研修を随時行い、サポーター登録を行っていく。					

事業概要	(PLAN)																								
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し																								
方針	2 社会全般における男女共同参画の推進 重点方針 <input type="radio"/>																								
施策の方向	2 学習活動を通じた男女共同参画の推進																								
事業番号/事業名	2222 男女共同参画の視点を持った保育サポーター制度の推進																								
事業内容	女性センターが実施する事業に子育て中の女性の参加を促進するため、男女共同参画の視点を持った保育サポーターによる託児を実施する。																								
30年度に向けた方向性	【課題】 【女性センター】保育サポーター登録者が高齢化、減少していて、人員確保が難しくなってきた。 【今後の方向性】 ・男女共同参画の視点ある保育を周知するため、一時保育事業に携わる保育サポーターのスキルアップ講座を実施し人材の確保に努める。																								
参考	関連する計画																								
実施内容	(DO) ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。																								
30年度	【女性センター】 女性センターの保育サポーターは基本的には保育士や幼稚園教諭等の資格を保有している方に登録していただいている (1) 託児利用状況 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>午前</th> <th>午後</th> <th>夜間</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～2歳(人)</td> <td>171</td> <td>64</td> <td>0</td> <td>235</td> </tr> <tr> <td>3～6歳(人)</td> <td>37</td> <td>59</td> <td>44</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>合計(人)</td> <td>208</td> <td>123</td> <td>44</td> <td>375(内訳 相談59人、セミナー146人、就労支援講座38人、資格取得・スキルアップ講座125人)</td> </tr> </tbody> </table> ・連絡シートを毎回作成し、保護者への連絡を密にしている (2) プラスワン保育 一時保育を利用しながら資格取得講座を受講した人に向け、講座終了後から資格試験までの期間に自主学習時間を確保することを目的として、一時保育を実施した。30度の利用は7人。 (1)(2)ともに、28年度から託児料は無料とした。 (3) 保育サポーターのための研修(消防訓練、女性センター保育事業について等 受講者数:19人 男性0人 女性19人)						午前	午後	夜間	合計	1～2歳(人)	171	64	0	235	3～6歳(人)	37	59	44	140	合計(人)	208	123	44	375(内訳 相談59人、セミナー146人、就労支援講座38人、資格取得・スキルアップ講座125人)
		午前	午後	夜間	合計																				
1～2歳(人)	171	64	0	235																					
3～6歳(人)	37	59	44	140																					
合計(人)	208	123	44	375(内訳 相談59人、セミナー146人、就労支援講座38人、資格取得・スキルアップ講座125人)																					
前年29年度	【女性センター】 (1) 一時保育利用状況 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>午前</th> <th>午後</th> <th>夜間</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～2歳(人)</td> <td>180</td> <td>65</td> <td>13</td> <td>258</td> </tr> <tr> <td>3～6歳(人)</td> <td>64</td> <td>40</td> <td>30</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>合計(人)</td> <td>244</td> <td>105</td> <td>43</td> <td>392(内訳 相談82人、セミナー163人、就労支援講座46人、資格取得・スキルアップ講座101人)</td> </tr> </tbody> </table> ・連絡シートを毎回作成し、保護者への連絡を密にしている (2) プラスワン保育 一時保育を利用しながら資格取得講座を受講した人に向け、講座終了後から資格試験までの期間に自主学習時間を確保することを目的として、一時保育を実施した。29度の利用は2人。 (1)(2)ともに、28年度から託児料は無料とした。 (3) 保育サポーターのための研修(消防訓練、女性センター保育事業について受講者数:8人男性0人女性8人)						午前	午後	夜間	合計	1～2歳(人)	180	65	13	258	3～6歳(人)	64	40	30	134	合計(人)	244	105	43	392(内訳 相談82人、セミナー163人、就労支援講座46人、資格取得・スキルアップ講座101人)
	午前	午後	夜間	合計																					
1～2歳(人)	180	65	13	258																					
3～6歳(人)	64	40	30	134																					
合計(人)	244	105	43	392(内訳 相談82人、セミナー163人、就労支援講座46人、資格取得・スキルアップ講座101人)																					

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	総合政策局	課	生涯、学習！推進課	事業番号	2223
事業概要 (PLAN)	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し				
方針	2 社会全般における男女共同参画の推進 重点方針 ○				
施策の方向	2 学習活動を通じた男女共同参画の推進				
事業番号/事業名	2223 講座時の託児の実施				
事業内容	必要のある講座についてボランティアによる託児の実施に努める				
30年度に向けた方向性 (PLAN)	【課題】子どもと一緒に講座を受講すると講座に集中できないため、受講環境を整えてほしいとの要望のあった講座があり対応していく必要がある。 【今後の方向性】今後とも、他の受講者に配慮しつつ、公民館の各種事業について、男女共同参画の視点を考慮して、必要のある講座について託児の実施に努める。				
参考	関連する計画				
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
30年度	別紙参照	評価1	(CHECK) 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓		
前年 29年度	別紙参照	評価2	(CHECK) 数値目標 目標項目 目標・実績		
		実績の評価	<input type="checkbox"/> 達成している	<input type="checkbox"/> 下回った	備考
		評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について		
		課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。		
		今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。		
		(生涯、学習！推進課) 今後とも、他の受講者に配慮しつつ、生涯学習プラザの各種事業について、男女共同参画の視点を考慮して、必要のある講座について託児の実施に努める。			

50 別紙

2223 別紙

実施内容	
30 年度	<p>【中央公民館】 ○家庭教育推進事業 ・中央凸凹ひろば 遊んで学ぼうin中央公民館 11/16実施分 受講者12人(男性4人 女性8人)保育児童数6人 1/18実施分 受講者18人(男性5人 女性13人)保育児童数9人 ・中央子育てネットワーク「秋の研修会」 11/19実施分 受講者14人(男性3人 女性11人)保育児童数2人</p> <p>【小田公民館】 ○子育て講座 ・新米ママ倶楽部 5/28 受講者27人(男の子8人 女の子6人)保育児童数14人 11/17 受講者13人(男の子0人 女の子1人)保育児童数1人</p> <p>【大庄公民館】 ○家庭教育推進事業 ・音楽に親しみを 8/29 受講者30人(男の子8人 女の子8人)保育児童数16人 12/18 受講者29人(男の子8人 女の子7人)保育児童数15人 ○子育て講座 ・おやつ作りと幼児食 10/2 受講者16人(男の子3人 女の子5人)保育児童数8人 11/20 受講者3人(男の子1人 女の子1人)保育児童数2人</p> <p>【立花公民館】 ○家庭教育推進事業 ・立花ほっと☆ひととき 10/17 受講者54人(男の子11人 女の子16人)保育児童数27人 10/24 受講者 4人(男の子0人 女の子2人)保育児童数2人 11/28 受講者 16人(男の子2人 女の子6人)保育児童数8人</p> <p>【武庫公民館】 ○子育て講座 ・こどものはなしをきこう「ママのための聴き方講座」 6/14.6/28.7/12実施分 参加者43人 保育児童数 28人 ・育メンスイッチセミナー 1/19、2/2実施分 参加者15人 保育児童数 1人</p> <p>【園田公民館】 ○家庭教育推進事業 ・子育てハッピーサロン 6/25 受講者32人(男の子 2人 女の子14人)保育児童数16人 7/23 受講者28人(男の子 1人 女の子13人)保育児童数14人 8/27 受講者16人(男の子 3人 女の子 5人)保育児童数 8人 10/15 受講者26人(男の子 0人 女の子13人)保育児童数13人 11/12 受講者 9人(男の子 1人 女の子 8人)保育児童数 9人 12/10 受講者16人(男の子 1人 女の子 7人)保育児童数 8人</p> <p>○子育て講座 ・子どもを怒らない！怒りをコントロールするアンガーマネージメント 2/18 受講者30人(男の子 7人 女の子8人)保育児童数15人 2/26 受講者30人(男の子 7人 女の子8人)保育児童数15人</p>
前年 29 年度	<p>託児を実施することにより、年齢・性別に関わらず、子ども連れの受講者の受講時間の確保に努める。</p> <p>○社会教育・地域力創生事業 ・地域・現代学講座</p> <p>【中央】中央地区地域振興連携推進会議生涯学習部会講演会「親から子への贈り物～生まれて来てくれてありがとう～」 3/12 回数1回 受講者47人(男性11人、女性36人) 保育児童数2人 ・地域お出かけ事業(リクエスト講座)</p> <p>【中央】ラッキーカラー占いを楽しもう！ 6/21～7/5 回数3回 受講者15人(女性15人) 保育児童数3人 ・地域お出かけ事業(子どもふれあいスクール事業)</p> <p>【中央】イライラ子育てさようなら～心のメカニズムを知ろう～ 3/19 回数1回 受講者28人(女性28人) 保育児童数17人</p> <p>○家庭・地域教育推進事業 ・子育て学習世代間交流事業</p> <p>【中央】ハッピー子育て愛ランド 中央凸凹ひろば 7/7 実施分 受講者41人(男性9人、女性32人) 保育児童数18人 9/1 実施分 受講者36人(男性9人、女性27人) 保育児童数15人 10/13 実施分 受講者32人(男性9人、女性23人) 保育児童数14人 11/10 実施分 受講者25人(男性7人、女性18人) 保育児童数12人 11/17 実施分 受講者29人(男性6人、女性23人) 保育児童数13人</p> <p>【大庄】ハッピー子育て愛ランド 大庄 8/22 実施分 受講者19人(男性5人、女性14人) 保育児童数8人 11/7 実施分 受講者27人(男性6人、女性21人) 保育児童数10人</p> <p>【立花】ハッピー子育て愛ランド 立花ほっと☆たいむサロン 6/21 実施分 受講者26人(男性5人、女性21人) 保育児童数10人 7/26 実施分 受講者32人(男性8人、女性24人) 保育児童数14人 9/20 実施分 受講者26人(男性7人、女性19人) 保育児童数11人 11/1 実施分 受講者25人(男性6人、女性19人) 保育児童数12人 11/29 実施分 受講者27人(男性6人、女性21人) 保育児童数13人</p> <p>【武庫】ハッピー子育て愛ランド むっこさーくろ 9/26 実施分 受講者36人(男性5人、女性31人) 保育児童数16人</p> <p>○学びの楽しさを学ぶワンコイン講座 【大庄】フィットネスボクシング体験教室 3/9 実施分 受講者8人(男性1人、女性7人) 保育児童数3人 3/23 実施分 受講者8人(男性1人、女性7人) 保育児童数1人</p> <p>乳幼児のいる参加希望者からの相談を受け実施</p>

50 別紙

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	総合政策局	課	ダイバーシティ推進課、生涯、学習！推進課、こども福祉課、健康増進課	事業番号	2224
---	-------	---	-----------------------------------	------	------

事業概要 (PLAN)		
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し	
方針	2 社会全般における男女共同参画の推進 重点方針 <input type="radio"/>	
施策の方向	2 学習活動を通じた男女共同参画の推進	
事業番号/事業名	2224 子育て家庭に対する啓発	
事業内容	男女共同参画の視点に立った家庭生活が送れるよう、子育て家庭に対する講座を実施する。	
30年度に向けた方向性	<small>【課題】</small> <small>【ダイバーシティ推進課】(女性センター)パートナーと一緒に参加とすれば、受講参加はある一定数集まるが、男性に限定した講座の集客は難しい。</small> <small>【市民活動推進課】ベビーマッパやリミックなど母親が交流できる場のニーズは高い。限られた事業数のなかで、子育て家庭に対する事業の工夫が必要である。</small> <small>【中央公民館】公民館では幅広い分野を対象とした事業を実施しており、各種事業を企画する際に男女共同参画の視点を意識する必要がある。</small> <small>【こども家庭支援課】在宅で子育てをしている保護者とその子どもが気軽に交流できる拠点事業や子育て支援に関する講座やイベントなどへの参加状況など、前年度と比べほぼ同程度であり、すこやかプラザやつどいの広場における子育て支援事業について、子育て中の親子に定着してきているが、より一層の利用を促すため、利用者の個別ニーズを把握する必要がある。</small> <small>【健康増進課】〇市のマタニティセミナーの受講者が少ない。</small> <small>【今後の方向性】</small> <small>【ダイバーシティ推進課】(女性センター)</small> <small>・男性が参加したくなるような、講座ネーミングや日時等、仕掛け方を検討していく。</small> <small>・子育てに関する事業はニーズが高い。家庭教育の中で男女共同参画の視点を持つことは重要であるため事業を継続して実施していく。</small> <small>【市民活動推進課】市民ニーズを把握しつつ、子育て家庭に対する講座を実施する。</small> <small>【中央公民館】公民館の各種事業について、男女共同参画の視点を考慮して事業を実施していく。</small> <small>【こども家庭支援課】アンケート等により利用者ニーズを把握しながら、男女共同参画の視点を意識した、事業の企画を行う。</small> <small>【健康増進課】妊娠期からの切れ目ない支援につなげていくために、平成30年4月から南北保健福祉センター地域保健課に母子健康支援包括支援センターの機能を付加した。産婦人科でのマタニティセミナーの受講状況を確認しつつ、今後も妊娠届出時に積極的にマタニティセミナーを勧めていく。</small>	
(PLAN)		
参考	関連する計画	地域いきいき健康プランあまがさき(地域保健医療計画)
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。	
30年度	別紙参照	
前年29年度	別紙参照	

評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか					
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓					
	を入れてください					
評価2	(CHECK) 数値目標					
目標項目						
目標・実績	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度	
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考	
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容					
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について					
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。					
	【ダイバーシティ推進課】(女性センター)子育て家庭に対する啓発は、母親だけでなく、父親、祖父母にも共に行う必要がある。対象者について、パートナーと一緒に参加とすれば、受講参加はある一定数集まるが、男性に限定した講座の集客は難しい。 【生涯、学習！推進課】生涯学習プラザでは、幅広い分野を対象とした事業を実施しており、各種事業を企画する際に、男女共同参画の視点を意識する必要がある。 【こども福祉課】在宅で子育てをしている保護者とその子どもが気軽に交流できる拠点事業や子育て支援に関する講座やイベントなどへの参加状況など、前年度と比べほぼ同程度であり、すこやかプラザやつどいの広場における子育て支援事業について、子育て中の親子に定着してきている。利用者の声も踏まえて、男性の参加も視野に、利用者のニーズに沿った講座やイベントも実施し、より一層の利用を促す必要がある。 【健康増進課】市のマタニティセミナーの受講者が少ない。					
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。					
	【ダイバーシティ推進課】(女性センター) ・男性が参加したくなるような、講座ネーミングや日時等、仕掛け方を検討していく。 ・子育てに関する事業はニーズが高い。家庭教育の中で男女共同参画の視点を持つことは重要であるため事業を継続して実施していく。 【生涯、学習！推進課】生涯学習プラザの各種事業について、男女共同参画の視点を考慮して事業を実施していく。 【こども福祉課】今後も利用者ニーズを把握しながら、男女共同参画の視点を意識した、事業の企画を行う。 【健康増進課】妊娠期からの切れ目ない支援につなげていくために、平成30年4月から南北保健福祉センター地域保健課に母子健康支援包括支援センターの機能を付加した。産婦人科でのマタニティセミナーの受講状況を確認しつつ、今後も妊娠届出時に積極的にマタニティセミナーを勧めていく。					

実施内容

30
年度

【ダイバーシティ推進課】

(女性センター)

- 「ワークライフバランスを阻むものは～若年男性の意識をめぐって～」(講師:中里英樹 参加者数:27人 男性2人 女性25人)
- 「パパのための子どもを預けて読書でリラックスタイム」(参加者数:のべ3人 男性3人)
- 「男女共同参画週間事業 ふっちゃんけ夫婦～く」(講師:露の回姫、豊来家大治朗 参加者数:141人 男性22人 女性116人 不明3人)
- 「働く母親を応援する 男性・子どもの生活自立支援 ぱいといっしょにクッキング!」(講師:小寺純子 参加者数:12組28人 男性20人 女性8人)
- 「パパの家事は家族を救う!～より良いパートナーシップのために～」(講師:和田のりあき 参加者数:5組8人 男性4人 女性9人)
- あまがさき女性フォーラム「防災体験ワークショップ～家族で楽しく備えよう～」(講師:和田のりあき 参加者数:20人 男性4人 女性16人)
- 「第2回尼崎市防災セミナー」『小さな命まもる家庭の備え ーママ・パパのための防災教室vol.3』(講師:あんどうりす、テレビエ職員、参加者数:46人 男性9人 女性37人)
- 「ふきとばそう! 保育所・児童ホームの不安」(参加者数:のべ46人 男性3人 女性43人)
- 「働き方からみる経済学～ワークライフバランスと豊かな暮らし～」(講師:西村智 参加者数:25人 男性2人 女性23人)
- 「2019あまがさき女性フェスティバル記念講演 地域で応援!シングル・シングルマザーの就労支援」(講師:佐々木妙月 参加者数:57人 男性3人 女性53人 不明1人)
- 「子どもを預けて読書でリラックスタイム」(参加者数:のべ71人 男性0人 女性71人)
- 「絵本でほっこりinカフェ・テレビエ」(参加者数:のべ59人 男性0人 女性30人 こども29人)
- ブックフェア「子育てパパのワークライフ・バランス」
- ギャラリー展示「男性のワークライフ・バランス」

【中央公民館】

- ・子育て世代間交流事業(視点:男性の家庭・地域等への参画、促進に役立つものとして、子育てのコツ、子どもへの接し方、ネットワークづくり等)
- 実施回数:9回 参加人数223人(男性68人 女性155人)
- ・子育て講座(地域お出かけ事業)(視点:子ども理解のポイント、いじめ等に対する問題点、子育てへの対応 みんなで明るく健康的な子育てを)
- 実施回数:1回 参加人数18人(男性1人 女性17人)

【大庄公民館】

- ・子どもふれあいスクール事業(視点:男女問わず、子育て世代が子供が楽しむ講座を通して交流し、コミュニティを創出するもの)
- 音楽に親しみを 2回 59人(男性:16人、女性43人)、親子でヨガを楽しもう 2回 25人(男性:6人、女性:19人)
- ・子育て講座(視点:男女問わず、子育てでの不安や悩みを相談し、これからの子育てに前向きに励む。)
- 子育てなんでも相談 1回 3人(親:女性1人、子:男女2人)

【立花公民館】

立花(りっぱな)子育てひろげようサミット 回数1回 参加者13人(男性1人 女性12人)

【こども福祉課】

すこやかプラザ、つどいの広場で、子育てに関する講習会やイベントを実施したりすると共に、保護者からの相談に乗ったり、保護者同士の繋がりを広げ、情報交換や交流のできる関係性を作れるような場の提供を行い、家庭の子育て力の向上を図るとともに、子育てにおける不安の解消や、子育ての喜びを改めて感じるような意識啓発を行った。

平成30年度実績

- すこやかプラザ 子育て支援指定事業(実施回数、利用者数) 22回、451人
- ブックスタート(実施回数、利用者数) 12回、162人
- ファミリースクール(実施回数、利用者数) 20回、1,769人
- つどいの広場(10か所合計) 子育て講習会及びイベント(実施回数、利用者数) 947回、20,005人

【健康増進課】

○ママやパパのためのマタニティセミナー

妊娠期から子育てについての知識を習得し、妊婦同士や先輩ママとの交流会を取り入れることで、子育て中の孤立化を防ぎ、夫婦や地域で子育てを行う基盤づくりをしている。

①妊娠期からの産後の健康管理・子育て体験・妊婦体験・マタニティクッキング 74回(妊婦951人、夫154人、その他1人) 南北保健福祉センター地域保健課にて実施

○休日版 パパのためのマタニティセミナー

仕事等で平日のマタニティセミナーに参加できないパパのための育児教室を、日曜日に実施している。

【回数】2回/年

【参加者】149人(妊婦とパートナー55組110人、先輩パパ18人、先輩ママ21人)

○休日版パパママセミナークッキング&オーラルケア

両親参加の子育ての視点や家族の健康を考えるきっかけとして、これまで妊婦対象に実施してきた栄養教室や歯の教室について夫婦対象に休日に開催した。

【回数】3回/年

【参加者】25組50人

○ふたごのための育児教室

【回数】5回/年

【参加者】20組69人

51 別紙②(前年29年度)

2224 別紙②

実施内容

前年
29
年度

【ダイバーシティ推進課】
 (女性センター)
 ○「子育て中の女性のための防災セミナー 今すぐ、わたしにできること 命を守ろう! 防災の心がまえ。」(講師:藤田 朝代、女性センター職員 他、受講者数:13人<女性限定:乳幼児を育てている女性を対象としたため>)同席乳児4人
 ○「第1回尼崎市防災セミナー『小さな命をまもる家庭の備え—ママ、パパのための防災教室vol.2—』(講師:あんどろりす、女性センター職員 受講者数計44人 男性8人 女性36人)
 ○「まさか! 避難所生活に! あなたならどうする?」(講師:女性センター職員 受講者数計27人<女性限定:乳幼児を育てている女性を対象としたため>)
 ○読書でリラックスタイム」(講師:女性センター職員 受講者数計のべ76人 男性3人 女性73人)
 ○絵本でほっこりinカフェ・テレビエ」(講師:NPO法人「絵本で子育て」センター 支部絵がお 受講者数計45人 男性11人 女性34人 どちらも子どもを含む)
 ○「働く母親を応援する 男性・子どもの生活自立支援事業「キッズクッキング&ママリラックス」(講師:小寺 純子、栗岡 多恵子 受講者数計12組27人 男性5人 女性22人 どちらも子どもを含む)
 ○「男性料理講座 今日から作れる! 時短料理」(講師:小寺 純子 受講者数計7人男性限定:男性の家事自立が狙いのため)
 ○「パパの家事は家族を救う! ~より良いパートナーシップのために~」(講師:和田 憲明 受講者数計10組 男性10人 女性10人)
 ○「出張! 女性のための働き方セミナー 働く女性のためのタイムマネジメント」(講師:森本 紀子 受講者数11人)<女性限定:兵庫県立男女共同参画センター・イーブン登録の講師であり、女性限定で本音でグルーブトークを行い、ジェンダーの気づきを促す狙いがあるため>
 ○ブックフェア「働く母を応援します」読書でリラックス利用者おすすめ本」

【市民活動推進課】
 ●同じ年頃の子どもを持つ親同士が、心と体の健康維持やネットワーク作りができる場を提供することで、家庭・地域等への参画促進に役立つという視点で事業を実施した。
 ・親子ヨガを開催。(立花地区会館 計 1回 参加人数 2組)
 ・ベビー・マッサージ&ヨガを開催。(立花地区会館 計 2回 参加人数 40組)
 ・親子教室「ベビー・マッサージ」体験会を開催。(武庫地区会館 計 5回 参加人数 70組 140名)
 ・親子教室「リトミック」体験会を開催。(武庫地区会館 計 13回 383組 766名)
 ・夏休み親子教室「ボースーツを作ろう!」を開催。(武庫地区会館 計 1回 参加人数 43名)
 ・地域でふれあい～親子リトミック～を開催。(園田地区会館 計 2回 参加人数 30名)

【中央公民館】
 ○人権推進講座
 【立花】「発達障害にみんなて向きあおう!」～地域・学校・家庭ができること～ 回数1回 参加者数77人(男性26人、女性51人)
 ○子育て学習世代間交流事業(視点:男性の家庭・地域等への参画、促進に役立つものとして、子育てのコツ、子どもとの接し方、ネットワークづくり等)
 【中央】17回 601人(男性141人、女性460人) 【小田】13回 525人(男性32人、女性493人) 【大庄】14回 314人(男性77人、女性237人)
 【立花】15回 385人(男性88人、女性297人) 【武庫】13回 578人(男性86人、女性492人) 【園田】14回 614人(男性95人、女性519人)
 ○子どもふれあいスクール事業(視点:日頃子ども連れでは行くことができない音楽会を鑑賞し、心身ともにリフレッシュをし、子育てに励む)
 【中央】中央子育てネットワーク「音楽会」1回 102人(男性19人、女性83人) 【小田】新米ママ広場 2回 64人(男性17人、女性47人)※つどのいのひろば あみんぐステーションとの共催事業
 【立花】子どもは、クリスマス飾りを、大人はしめ縄リースを作ろう! 1回 13人(男性2人、女性11人)
 ○立花(りっぱな)子育てひろげようサミット
 【立花】立花(りっぱな)子育て広げようサミット」回数1回 参加者数23人(男性5人 女性18人)
 ○地域お出かけ事業(視点:男性の家庭、地域等への参画促進に役立つもの、子育てのコツ、接し方等)
 【中央】子どもが成長するために大人ができること 1回 52人(男性10人、女性42人) ・食事と健康～成長期の子どもの栄養摂取について 1回 29人(男性6人、女性23人)
 ・イライラ子育てしようなら～心のメカニズムを知らう～ 1回 28人(女性28人)
 【大庄】子どもを理解する為に大切なこと～振り返ろう、子どもとの接し方、捉え方～ 1回 105人(男性37人、女性68人)
 【立花】親子のコミュニケーションこれでいいの?」～家庭・地域で育てる自尊心～ 1回 32人(男性9人、女性23人)

【こども家庭支援課】
 すこやかプラザ、つどのの広場で、子育てに関する講習会やイベントを実施したりすると共に、保護者からの相談に乗ったり、保護者同士の繋がりを広げ、情報交換や交流のできる関係性を作れるような場の提供を行った。
 そうしたことで、家庭の子育て力の向上を図るとともに、子育てにおける不安の解消や、子育ての喜びを改めて感じるような意識啓発を行った。
 平成29年度実績
 ○すこやかプラザにおける子育て支援事業(実施回数、利用者数) 23回、482人
 ○つどのの広場(10か所合計)における子育て講習会及びイベント(実施回数、利用者数) 876回、15,915人

【健康増進課】
 ○ママやパパのためのマタニティセミナー
 妊娠期から子育てについての知識を習得し、妊婦同士や先輩ママとの交流会を取り入れることで、子育て中の孤立化を防ぎ、夫婦や地域で子育てを行う基盤づくりをしている。
 ①妊娠期からの産後の健康管理・子育て体験・妊婦体験 68回(妊婦644人、夫248人、その他8人) 保健センターで実施
 ②マタニティクッキング
 ③マタニティ歯医者セミナー
 ○休日版 パパのためのマタニティセミナー
 仕事等で平日のマタニティセミナーに参加できないパパのための育児教室を、日曜日に実施している。
 【内 容】 ①パパの妊婦体験
 ②育児体験(オムツ交換・ミルクの飲ませ方・着替えの仕方など)
 ③先輩パパ・ママの産産・子育て体験談を聞いてみよう
 【回 数】 2回/年
 【参加者】 149人(妊婦とパートナー55組110人、先輩パパ18人、先輩ママ21人)
 ○休日版/パパママセミナー
 両親参加の子育ての視点や家族の健康を考えるきっかけとして、これまで妊婦対象に実施してきた栄養教室や歯の教室について夫婦対象に休日に開催した。
 【回 数】 6回/年
 【参加者】 48組95人
 ○ふたごのための育児教室
 【回数】 4回/年

51 別紙②(前年29年度)

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	総合政策局	課	ダイバーシティ推進課、生涯、学習！推進課、こども福祉課、健康増進課	事業番号	2231																
事業概要 (PLAN)		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか																			
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し	実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓																			
方針	2 社会全般における男女共同参画の推進 重点方針 ○																				
施策の方向	3 男性の意識変革と生活自立	評価2 (CHECK) 数値目標 目標項目 男性自身の意識変革のための男性セミナー実施数																			
事業番号/事業名	2231 男性セミナーの実施	目標・実績 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>目標値</th> <th>増加</th> <th>達成年度</th> <th>33年度</th> <th>29年度</th> <th>10回</th> <th>30年度</th> <th>26回</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td>備考</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				目標値	増加	達成年度	33年度	29年度	10回	30年度	26回				<input type="checkbox"/>	下回った	備考		
目標値	増加	達成年度	33年度	29年度	10回	30年度	26回														
			<input type="checkbox"/>	下回った	備考																
事業内容	固定的役割分担にとられない男性の生き方を考え、男女共同参画意識を普及するための講座を開催する。	実績の評価 <input checked="" type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った 備考																			
30年度に向けた方向性 (PLAN)	【課題】 【ダイバーシティ推進課】(女性センター)男性セミナーは集客が難しい。 【地域活動推進課】地区会館は主にレクリエーションの場などを提供する施設として設置していることから、事業数に限界がある中で工夫が必要である。 【中央公民館】公民館では幅広い分野を対象とした事業を実施しており、各種事業を企画する際に男女共同参画の視点を意識する必要がある。 【こども家庭支援課】父親を対象とした子育て支援等に関する講座の参加状況など、前年度と比べほぼ同程度であり、当該事業について定着してきていると考えるが、より一層の利用を促すため、利用者の個別ニーズを把握する必要がある。 【健康増進課】休日版パパとママのマタニティセミナーについては、申し込み開始より数日で30組を超えている。平日のマタニティセミナーは男性の参加が増加しているが、定員に達することはない。 【今後の方向性】 【ダイバーシティ推進課】(女性センター)男性セミナーを開催することは、男性の性別役割分担への意識改革のきっかけともなり、女性センターで講座を開催する意義は大きい。男性セミナーは30年度の重点課題のテーマに取り上げ、講座ネーミングやチラシの工夫、仕掛けづくり等の戦略を練り、有聲な講座にたくさん男性を巻き込めるよう積極的に取り組んでいく。 【地域活動推進課】男性も参加しやすい事業の企画などを地区会館の指定管理者へ促していく。 【中央公民館】公民館の各種事業について、男女共同参画の視点を考慮して事業を実施していく。 【こども家庭支援課】アンケート等により利用者ニーズを把握しながら、男女共同参画の視点を意識した、事業の企画を行う。 【健康増進課】今後とも継続してマタニティセミナーを実施していく。休日版に関しては、参加者の状況を確認しながら回数、実施場所について検討していく。	評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について																			
参考	関連する計画	課題 (CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。																			
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。	【ダイバーシティ推進課】(女性センター)男性セミナーは集客が難しいが、女性センターで講座を開催する意義は大きいと考えており、講座に男性を巻き込めるよう取り組む必要がある。 【生涯、学習！推進課】生涯学習プラザでは、幅広い分野を対象とした事業を実施しており、各種事業を企画する際に、男女共同参画の視点を意識する必要がある。 【こども福祉課】父親を対象とした子育て支援等に関する講座の参加状況など、前年度と比べほぼ同程度であり、当該事業について定着してきていると考えるが、より一層の利用を促していく必要がある。 【健康増進課】休日版パパとママのマタニティセミナーについては、申し込み開始より数日で30組を超えている。平日のマタニティセミナーは男性の参加が増加しているが、定員に達することはない。																			
30年度	別紙参照 【ダイバーシティ推進課】(女性センター)『男性のワーク・ライフ・バランスの見直しと推進』は30年度の重点課題とした。集客は難しく、セミナーのネーミング、チラシリード文、対象者や内容に家族を巻き込む工夫をしてセミナーを企画した。男性の長時間労働の問題解決のために、男女共同参画の視点が欠かせないこと、雇用形態の変化に伴う仕事と家庭の両立のためにも、家族全員で家事分担の見直しが必要なことなど、参加者アンケートには課題解決に対する気づきが多数記載され、企画において苦慮したが重点課題ではあったが、成果はあった。	今後の方向性 (ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。 【ダイバーシティ推進課】(女性センター)今後とも、男性の性別役割分担への意識改革のきっかけともなる啓発講座等を実施する。 【生涯、学習！推進課】生涯学習プラザの各種事業について、男女共同参画の視点を考慮して事業を実施していく。 【こども福祉課】利用者ニーズを把握しながら、男女共同参画の視点を意識した、事業の企画を行う。																			
前年29年度	別紙参照																				

実施内容	
30 年度	<p>【ダイバーシティ推進課】 (女性センター) 男性セミナーは30年度の重点課題のテーマとした ○「ワークライフバランスを阻むものは～若年男性の意識をめぐって～」(講師:中里英樹 参加者数:27人 男性2人 女性25人) ○「パパのための子どもを預けて読書でリラックスタイム」(参加者数:のべ3人 男性3人) ○「男女共同参画週間事業 ふつちやけ夫婦～」(講師:露の団庵、豊来家大治朗 参加者数:141人 男性22人 女性116人 不明3人) ○「未読病」(講師:石蔵文信 参加者数:のべ20人 男性12人 女性8人) ○「働く母親を応援する 男性・子どもの生活自立支援 パパといっしょにクッキング!」(講師:小寺純子 参加者数:12組28人 男性20人 女性8人) ○「パパの家事は家族を救う!～より良いパートナーシップのために～」(講師:和田のりあき 参加者数:5組8人 男性4人 女性9人) ○あまがさき女性フォーラム「防災体験ワークショップ～家族で楽しく備えよう～」(講師:和田のりあき 参加者数:20人 男性4人 女性16人) ○「第2回尾崎市防災セミナー『小さな命を守るための備えーママ・パパのための防災教室vol.3』(講師:あんどうりす、テレビエ職員、参加者数:46人 男性9人 女性37人) ○「ふきとばそう!保育所・児童ホームの不安」(参加者数:のべ46人 男性3人 女性43人) ○「働き方からみる経済学～ワークライフバランスと豊かな暮らし～」(講師:西村智 参加者数:25人 男性2人 女性23人) ○「子どもを預けて読書でリラックスタイム」(参加者数:のべ71人 男性0人 女性71人) ○「絵本でほっこりinカフェトレビエ」(参加者数:のべ59人 男性0人 女性30人 こども29人) ○ブックフェア「子育てパパのワーク・ライフ・バランス」 ○ギャラリー展示「男性のワークライフバランス」 【中央公民館】 ・パパは太鼓の達人(視点:仕事であまり子どもと関わる時間のない父親を太鼓を通して親子の絆を深めてもらう。) 2/23・2/24の2回実施。参加:1組(申し込みは3組) 【武庫公民館】 ・育メンスイッチセミナー 1/19、2/2実施分 参加者15人 【こども福祉課】 父親を対象とした子育て支援等に関する講座を実施し、父親の子育てへの参加の意識づくりを図るとともに、家庭で男女が協力して子どもを育てる責任を果たすこと、また子育てを喜びと感ずることへの意義等に関する意識啓発を行った。 平成30年度実績 ○すこやかプラザ「パパのためのマタニティセミナー」「パパとふれあい広場」等父親の育児参加促進と父親同士の交流を実施 「パパとふれあい広場」月1回日曜日、700人 「パパのためのマタニティセミナー」年2回、134人 ○つどいの広場 父親対象の講座やイベントを開催し、父親の育児参加促進と父親同士の交流を実施 「パパのベビーマッサージ」48人 「パパも一緒にクリスマス会」55人 【健康増進課】 ○休日版「パパのためのマタニティセミナー」 仕事等で平日のマタニティセミナーに参加できないパパのための育児教室を、日曜日に実施している。 【内 容】①パパの妊婦体験 ②育児体験(オムツ交換・ミルクの飲ませ方・着替えの仕方など) ③先輩パパ・ママの出産・子育て体験談を聞いてみよう 【回 数】2回/年 【参加者】149人 ○休日版マタニティセミナー(クッキング&ブラッシング) 両親参加の子育ての視点や家族の健康を考えるきっかけとして、これまで妊婦対象に実施してきた栄養教室や歯の教室について、夫婦対象に休日に開催した。 【回 数】4回/年 【参加者】25組50人</p>
前年 29 年度	<p>【ダイバーシティ推進課】 (女性センター) ○「第1回尾崎市防災セミナー『小さな命を守るための備えーママ・パパのための防災教室vol.2ー』(講師:あんどうりす、女性センター職員 受講者数計44人 男性8人 女性36人) ○「働く母親を応援する 男性・子どもの生活自立支援事業「キッズクッキング&ママリラックス」」(講師:小寺純子、栗岡多恵子 受講者数計12組27人 男性5人 女性22人 どちらも子どもを含む) ○「男性料理講座 今日から作れる!時短料理」(講師:小寺純子 受講者数計7人男性限定:男性の家事自立が狙いのため) ○「パパの家事は家族を救う!～より良いパートナーシップのために～」(講師:和田 憲明 受講者数計10組 男性10人 女性10人) ・ブックフェア「DV防止」男性料理」 【市民活動推進課】 未実施 【中央公民館】 未実施 【こども家庭支援課】 父親を対象とした子育て支援等に関する講座を実施し、父親の子育てへの参加の意識づくりを図るとともに、家庭で男女が協力して子どもを育てる責任を果たすこと、また子育てを喜びと感ずることへの意義等に関する意識啓発を行った。 平成29年度実績 ○すこやかプラザ「パパのためのマタニティセミナー」「パパとふれあい広場」等父親の育児参加促進と父親同士の交流を実施 「パパとふれあい広場」月1回日曜日、698人 「パパのためのマタニティセミナー」年2回、142人 【健康増進課】 ○休日版「パパのためのマタニティセミナー」 仕事等で平日のマタニティセミナーに参加できないパパのための育児教室を、日曜日に実施している。 【内 容】①パパの妊婦体験 ②育児体験(オムツ交換・ミルクの飲ませ方・着替えの仕方など) ③先輩パパ・ママの出産・子育て体験談を聞いてみよう 【回 数】2回/年 【参加者】142人 ○休日版マタニティセミナー(クッキング&ブラッシング) 両親参加の子育ての視点や家族の健康を考えるきっかけとして、これまで妊婦対象に実施してきた栄養教室や歯の教室について、夫婦対象に休日に開催した。 【回 数】4回/年 【参加者】39組 78人</p>

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

事業概要 (PLAN)	
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	2 社会全般における男女共同参画の推進 重点方針 ○
施策の方向	4 男女共同参画に関する情報資料の収集・提供
事業番号/事業名	2241 男女共同参画に関する図書・資料の収集・提供
事業内容	市民の男女共同参画への理解を深めるため、女性センターの情報資料室において諸外国の男女共同参画に関する情報も含めた啓発資料等を収集し、提供する。
30年度に向けた方向性 (PLAN)	<small>【課題】</small> <small>【女性センター】</small> 「尼崎市の女性の歴史に関する史料収集、デジタルアーカイブ化」の取組を進めているが、何をどのようにアーカイブ化するかを選定、データ入力のための人員、費用等どれをとって長期期間が必要となる。 <small>【今後の方向性】</small> ・尼崎市の女性たちの活動の記録を今後も収集・保存していく。 ・尼崎市立地域研究資料館と連携して指導を受けながら、優先順位をつけ、デジタルアーカイブ化を進める。 ・情報資料室がより多くの人に利用されるように、利用者の意見を聞きながら運営を行う。 ・男女共同参画推進のための図書、資料を計画的に増やし充実に努める。 ・バスファインダー(図書の探し方案内)を順次改定して発行する。 ・情報資料室で保管しているVHS、カセットテープなどデジタル化を進める。
考参	関連する計画
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。
30年度	<small>【女性センター】</small> 男女共同参画に関する図書・視聴覚資料・行政資料などを収集し、閲覧、貸出しを行うとともに、各種情報相談に応じた。 ・蔵書数: 8,635冊 (平成30年度増加冊数 275冊、除籍冊数66冊) ・利用状況 図書資料の貸出冊数 3,112冊 視聴覚資料の貸出本数29本、利用人数 1,010人(新規登録者数 108人) ○ブックフェアの開催 12回 「あたらしい本」「女性の働き方」「子育てパパのワーク・ライフ・バランス」「男女共同参画週間 パートナーシップを考える」「日本女性会議'98あまがさきから20年」「多様な性について考えよう!」「ピンクリボンキャンペーン ~月1回のセルフチェックからはじめよう~」「パープルリボン 女性に対する暴力をなくす運動」「2018あまがさき女性フォーラム」「防災・減災を考えよう! ~2018年におきた災害をふりかえって~」「アサーティブに! 私の気持ちを伝えよう」「あまがさき女性フェスティバル」 ○センター主催事業講座受講者に向けた情報資料の案内となる情報ピックアップを発行。307号~329号 ○学習情報の提供、図書資料紹介、男女共同参画に関する問合せについて情報相談(レファレンス)を行っている。 また情報資料室内には仕事・再就職・資格取得等の情報を集めた「あまがさき女性チャレンジひろば」を設置し、情報提供を行っている。 ○「パパのための子どもを預けて読書でリラックスタイム」を実施(参加者数:3人)託児無料 ○「子どもを預けて読書でリラックスタイム」を毎月一回実施(参加者数:のべ71人)託児無料 ○「絵本でほっこりinカフェ・トレピエ」を毎月一回実施(参加者数:のべ59人) ○バスファインダー(図書の探し方案内)「DV」「男性の悩み」「母娘」「離婚とシングルマザー」改定版を発行。 ○「尼崎市の女性の歴史に関する史料収集、デジタルアーカイブ化」の取組を進めている。 ○情報資料室で保管しているVHS、カセットテープなどデジタル化はすべて完了。
前年29年度	<small>【女性センター】</small> 男女共同参画に関する図書・視聴覚資料・行政資料などを収集し、閲覧、貸出しを行うとともに、各種情報相談に応じた。 ・蔵書数: 8,426冊 (平成28年度増加冊数 219冊、除籍冊数631冊) ・利用状況 図書資料の貸出冊数 3,106冊 視聴覚資料の貸出本数33本、利用人数 961人(新規登録者数 108人) ○ブックフェアの開催 17回 「あまがさき女性フェスティバル『地域のつながり』」「女性のための防災」「男女共同参画週間」「男女共同参画の視点を持った防災」「新しい本」「働く母を応援します」「トライやるウィーク中学生おすすすめ本」「ピンクリボン」「利用者の方おすすすめ本(感想カード)」「LGBT」「防災」「DV防止」「あまがさき女性フォーラム」「男性料理」「読書でリラックス利用者おすすすめ本」「追悼 石牟礼道子」「あまがさき女性フェスティバル」 ○センター主催事業講座受講者に向けた情報資料の案内となる情報ピックアップを発行。275号~306号 ○学習情報の提供、図書資料紹介、男女共同参画に関する問合せについて情報相談(レファレンス)を行っている。 また情報資料室内には仕事・再就職・資格取得等の情報を集めた「あまがさき女性チャレンジひろば」を設置し、情報提供を行っている。 ○「子どもを預けて読書でリラックスタイム」を毎月一回実施(参加者数:のべ76人)託児無料 ○バスファインダー(図書の探し方案内)「男女共同参画」「セクシャルリティ&LGBT」「さまざまなハラスメント」改定版を発行。 ○「尼崎市の女性の歴史に関する史料収集、デジタルアーカイブ化」の取組を進めている。

局	総合政策局	課	ダイバーシティ推進課	事業番号	2241
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
を入れてください					
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
	【女性センター】「尼崎市の女性の歴史に関する史料収集、デジタルアーカイブ化」の取組を進めているが、何をどのようにアーカイブ化するかを選定、データ入力のための人員、費用等が必要なため、優先順位をつけて取り組む必要がある。				
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
	・尼崎市の女性たちの活動の記録を今後も収集・保存していく。 ・情報資料室がより多くの人に利用されるように、利用者の意見を聞きながら運営を行う。 ・男女共同参画推進のための図書、資料を計画的に増やし充実に努める。 ・バスファインダー(図書の探し方案内)を順次改定して発行する。 ・デジタルアーカイブは、「日本女性会議'98あまがさき」について取り組む。				

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	教育委員会事務局	課	中央図書館	事業番号	2242
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか				
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓				
	を入れてください				
評価2	(CHECK) 数値目標				
目標項目					
目標・実績	目標値	達成年度	年度	29年度	30年度
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容				
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について				
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。				
図書館利用者に対し、男女共同参画について積極的に考える機会を提供する必要がある。					
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。				
今後も男女共同参画に関する新しい資料の収集やレファレンスに努める。					

事業概要 (PLAN)					
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し				
方針	2 社会全般における男女共同参画の推進				重点方針 <input type="checkbox"/>
施策の方向	4 男女共同参画に関する情報資料の収集・提供				
事業番号/事業名	2242 図書館での情報提供				
事業内容	図書館及び生涯学習プラザ図書室において、男女の人権の尊重など男女共同参画に関する図書を提供する。				
30年度に向けた方向性 (PLAN)	【課題】 今後も図書館利用者に男女共同参画についての情報を発信し、男女共同参画について考える機会を提供していく必要がある。 【今後の方向性】 より図書館利用者に男女共同参画に関心を持ってもらえるよう、展示や本の置き方等を工夫していく。				
参考	関連する計画				
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
30年度	<2館共通の取り組み> ・男女共同参画白書等の図書の提供。 ・ダイバーシティ推進課等から配布されるパンフレット、チラシ等を設置し図書館利用者に啓発を行った。 <中央図書館での取り組み> ・展示(中央図書館2階エントランスにて実施) ①テーマ:「LGBTについて考えてみませんか?」平成4月1日~4月6日 ②テーマ:「人権週間」令和5月8日~5月26日 ③テーマ:「男女共同参画」令和6月9日~6月14日 ④テーマ:「人権」令和8月15日~9月14日 ⑤テーマ:「女性に対する暴力」令和10月25日~11月30日 ⑥テーマ:「人権について」令和11月25日~12月20日 ⑦テーマ:「ダイバーシティ」令和1月20日~3月6日 ⑧テーマ:「国際婦人デー」令和2月12日~3月12日 <北図書館での取り組み> ・職員研修(全員参加) テーマ「ダイバーシティ社会に向けて図書館員が心掛けること」前半 平成30年5月31日 後半 平成30年9月27日 ・講座時の一時保育の実施平成30年10月7日7 ・展示(北図書館玄関ロビーにて実施)テーマ「国際女性デー」平成31年3月8日~3月31日				
前年29年度	<2館共通の取り組み> ・男女共同参画白書等の図書の提供 ・ダイバーシティ推進課等から配布されるパンフレット、チラシ等を設置し図書館利用者に啓発を行った。 <中央図書館での取り組み> ・展示(中央図書館2階エントランスにて実施) ①テーマ:「悩まないで人間関係」(マイノリティ)平成29年3月31日~4月26日 ②テーマ:「男女共同参画」平成29年6月6日~6月29日 ③テーマ:「なくそうこころの壁」(人権)平成29年7月28日~8月31日 ④テーマ:「女性に対する暴力」平成29年11月9日~12月5日 ⑤テーマ:「人権」平成29年11月18日~12月14日 ⑥テーマ:「ダイバーシティ」平成30年1月27日~3月5日 ⑦テーマ:「性的少数者 LGBTについて考えてみませんか」平成30年3月7日~3月31日 <北図書館での取り組み> ・展示(北図書館玄関ロビーにて実施) テーマ:「国際女性デー」平成30年3月8日~3月18日 ・講座時の一時保育の実施 平成29年8月23日				

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	総合政策局	課	ダイバーシティ推進課	事業番号	2251		
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか						
実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓						
を入れてください							
評価2	(CHECK) 数値目標						
目標項目	女性のネットワークづくりを支援するための交流事業数						
目標・実績	目標値	年2回以上	達成年度	33年度	29年度	30年度	2回
実績の評価	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考	女性フォーラム、女性フェスティバル	
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容						
	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について						
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。						
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。						
	・様々なグループが交流する機会を増やし連携のメリットを伝えていく。 ・地域へ男女共同参画を浸透させるために、団体・グループとの連携、協働を進める。女性センターだけではできない事業も、様々な団体と協働することで可能となる、また、逆に団体・グループだけではできないことも可能になることを伝えていく。 ・現在実施している事業の継続のほか、今後も団体への協力ができるよう柔軟に対応していく。 ・様々な団体・グループとの協働の在り方についても随時見直しながら支援を行う。 ・グループのエンバワメントにつながる市民企画講座ができることを伝えて支援を行う。						

事業概要	(PLAN)				
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し				
方針	2 社会全般における男女共同参画の推進 重点方針 <input type="radio"/>				
施策の方向	5 女性団体・グループの支援とネットワークの推進				
事業番号/事業名	2251 男女共同参画を推進する団体・グループの支援と連携の推進				
事業内容	男女共同参画の推進と女性の自立、社会参加等を支援するため、多くの市民が参加できるフォーラムを開催し、団体・自主グループの育成と相互の連携を図る。また、これまでの「女性フェスティバル」のような取組に加え、女性同士の交流の場を提供し、ネットワークづくりを支援する取組を行う。				
30年度に向けた方向性	【課題】個々のグループだけで活動しがちなグループに、テレビ活動登録団体や女性団体協議会等に参加、また、市民協働等に参画を進めていくことは、大変難しい。 【今後の方向性】 ・【女性センター】様々なグループが交流する機会を増やし連携のメリットを伝えていく。 ・地域への男女共同参画を浸透するために、団体・グループとの連携、協働を進める。女性センターだけではできない事業も、様々な団体と協働することで可能となる、また、逆に団体・グループだけではできないことも可能になることを伝えていく。 ・現在実施している事業の継続のほか、今後も団体への協力ができるよう柔軟に対応していく。 ・様々な団体・グループとの協働の在り方についても随時見直しながら支援を行う。				
(PLAN)					
参考	関連する計画				
実施内容	(DO) ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。				
30年度	【女性センター】 【団体・グループへの支援】 (1) 自主グループ(テレビエで実施した講座の受講者などが引き続き活動している団体。4団体) 支援内容: 保育は1年間、無料で実施 / 部屋の予約を一般より1ヶ月前から受付 / 部屋使用料5割減免 (2) 活動登録団体(テレビエを拠点として「男女共同参画社会の実現」をめざして活動している団体。11団体) 支援内容: 部屋代年2回無料使用 / HPでの活動紹介 / 部屋の予約を一般より1ヶ月前から受付 / 部屋使用料5割減免 【連携の推進】 ○あまがさき女性フェスティバル ※尼崎市女性団体協議会が中心となり実行委員会を構成。 ○あまがさき女性フォーラム ※活動登録団体他のグループの参画のもと企画運営委員会を構成。 ワークショップ3講座、午前の発表会、映画の開催 ○市民企画講座の実施 連携を密にしながら企画と当日の運営に参画。1企画開催 ○絵本でほっこりinカフェ・テレビエの実施 月1回絵本の読み聞かせを実施、子育て中の方の閉塞感の軽減につながる交流の場を提供 ○子ども食堂の実施 テレビエを会場とした学習支援に来ている小・中学生と保護者、支援者を対象に交流の場を提供。 ○チアフルワークフェスタ&あまがさき女性フェスティバルへの参画を起業支援として実行委員会と協働を行った。 ○大井戸公園とテレビエで開催する「あまがさき女性フェスティバル」への参画を起業初心者に支援し実行委員会と協働を行った。				
前年29年度	【女性センター】 【団体・グループへの支援】 (1) 自主グループ(テレビエで実施した講座の受講者などが引き続き活動している団体。3団体) 支援内容: 保育は1年間、無料で実施 / 部屋の予約を一般より1ヶ月前から受付 / 部屋使用料5割減免 (2) 活動登録団体(テレビエを拠点として「男女共同参画社会の実現」をめざして活動している団体。11団体) 支援内容: 部屋代年2回無料使用 / HPでの活動紹介 / 部屋の予約を一般より1ヶ月前から受付 / 部屋使用料5割減免 【連携の推進】 ○あまがさき女性フェスティバル ※尼崎市女性団体協議会が中心となり、31団体が実行委員会を構成。 ○あまがさき女性フォーラム ※活動登録団体他のグループの参画のもと企画運営委員会を構成。 ワークショップ3講座、午前の発表会、映画の開催 ○市民企画講座の実施 連携を密にしながら企画と当日の運営に参画。2企画開催 ○おしゃべりカフェの開催 「女性の起業支援! 起業に向けて大切なこと」開催 ○絵本でほっこりinカフェ・テレビエの実施 月1回絵本の読み聞かせを実施、子育て中の方の閉塞感の軽減につながる交流の場を提供 ○子ども食堂の実施 テレビエを会場とした学習支援に来ている小・中学生と保護者、支援者を対象に交流の場を提供				

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	教育委員会事務局	課	社会教育課	事業番号	2252
事業概要 (PLAN) 基本目標 2 社会の制度・慣行等の見直し 方針 2 社会全般における男女共同参画の推進 重点方針 ○ 施策の方向 5 女性団体・グループの支援とネットワークの推進 事業番号/事業名 2252 地域の女性団体への支援 事業内容 女性の地位向上と地域コミュニティ作りのための地域活動を展開している尼崎市連合婦人会を補助する。		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください	① 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 ② 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 ③ 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 ④ 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓		
30年度に向けた方向性 (PLAN) 【課題】平成29年度は地域振興事業と地域ふれあい事業を一事業化した年であり、新制度のもと助成金申請の事務手続きが簡素化され、各単組婦人会において有意義に活用された。その中で新制度の通達不足のため、事務の混乱を招いた事例もある。 【今後の方向性】新体制での助成金の手続き等の周知を徹底し、助成金の効率的な運用方法を協議して社会活動へ反映させ地域の活性化と活動支援を行い、婦人会への理解を求め会員の加入を促進して組織の拡充を図り、よりよい事業を展開できる体制づくりを推進する。		評価2 (CHECK) 数値目標 目標項目 目標・実績	目標値 達成年度 年度 29年度 30年度	実績の評価 <input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った 備考	
参考	関連する計画				
実施内容 (DO) ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。		評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について			
30年度	補助活動一覧 ○地域事業 《目的》地域力の向上と協働参画の機運が高まるなかで、単組婦人会が他の関係団体と協調しながら地域社会の特性を生かした連携・共催事業を実施し、生きがいとうるおいのある明るい地域社会の創生をめざし、婦人会が中心となって地域に共通する課題を協力して解決するよう、地域の人々との交流を図り、地域の活性化を図る。 《内容》地域関係団体と連携した環境の美化や地域の活性化を進めるための活動 ・地域関係団体が行う各種地域活動に対する支援及び共催活動・地域行政活動に対する積極的な協働参画活動・地域コミュニティを支えるリーダーを育てるための活動・地域で子どもを見守り、育てるための活動・高齢者への支援など地域福祉の増進のための活動 ・自然環境や地域環境保全のための活動・健康(心、身体)増進のための活動・その他、地域力の向上に資する活動に対する支援、地域活性化のための活動				
前年29年度	補助活動一覧 ○地域振興事業 《目的》地域力の向上と協働参画の機運が高まる中で単組婦人会が他の関係団体と強調しながら地域社会の特性を生かした連携・協働事業を実施し、婦人会が中心となって地域に共通する課題を協力して解決するよう地域の人々との交流を図り地域の活性化を図る。 《内容》地域関係団体と連携した環境美化活動や地域の活性化を進めるための活動、地域活動に対する支援及び協働活動、地域力向上に資する活動に対する支援、地域コミュニティを支えるリーダーを育てるための活動、地域で子どもを見守り育てるための活動、高齢者への支援など地域福祉増進のための活動、自然環境や地域環境保全のための活動、健康増進のための活動等 ※地域の活性化、地域活動を支援する助成金を活用しやすくするために、地域の女性団体が以下のように事業を整理した。 1. 地域振興事業と地域ふれあい事業の統合 2. 活動振興大会を数年周期による開催				
課題 (CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。		①平成30年度は地域振興事業と地域ふれあい事業を「地域事業」として一本化してから二年目にあたる。しかし利用に際し、二事業(地域振興事業・地域ふれあい事業)がいまだに存在していると思っ混乱している単組があった。 ②理事会員の高齢化が進み、単組が減少している。			
今後の方向性 (ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。		①単組への周知の徹底。理事のみならず単組の方に周知する必要があるため、実施概要を多めに作成し単組で配ってもらう。 ②各単組婦人会の地域活動を広く周知し、婦人会活動への理解を求め、新規加入を促進することによって組織の若返りと活性化を図る。			

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	総合政策局	課	ダイバーシティ推進課	事業番号	2311										
事業概要 (PLAN)	基本目標 2 社会の制度・慣行等の見直し 方針 3 地域コミュニティにおける男女共同参画の推進 重点方針 施策の方向 1 市民による地域での男女共同参画の促進 事業番号/事業名 2311 男女共同参画推進員(地域)の活動の促進 事業内容 身近な地域・職場など様々な場で、男女共同参画に関する講座や相談窓口等の情報提供を行う推進員を支援する。														
30年度に向けた方向性 (PLAN)	【課題】 男女共同参画推進員(市民委員)の活動意欲が向上しており、活動の場づくりについて市民委員とともに検討していく。 【今後の方向性】 関係団体等との連携の場や機会をとらえて、男女共同参画社会づくりを推進するための研修等に男女共同参画推進員(市民委員)が参画できるように、意欲に応じた活動の場づくりに取り組む。														
参考	関連する計画														
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。														
30年度	29年度より引き続き市民公募8名、民生児童委員6名、男女共同参画推進事業者27名に推進員に就任していただいている。 ・市民委員8名については、引き続き、女性センターが発行する啓発し『フェミナル』の編集サポーターとしても3名参加し編集に携わった。また、「あままままるしえ」や「チアフルワークフェスタ」などのイベントにブースを設け、男女共同参画の視点を取り入れた防災のワークショップや女性のマネープランセミナー、交通安全教室を行った。 ・民生児童委員から推薦いただいた6名については、DV被害者に接する可能性のある団体の方が、被害者を早期に相談機関へ繋げるために、対応の流れや相談窓口をまとめた「DV防止リーフレット」を活用し、DV被害者を早期に相談機関へ繋げるよう協力を求めた。また、女性センターで開催される講座を民生児童委員内で周知いただき、参加を促していただいた。														
前年29年度	男女共同参画推進員は、選出母体(市民公募8名、民生児童委員6名、男女共同参画推進事業者27名)ごとに委員を委嘱し、DV相談窓口の周知や、女性フォーラム実行委員会に参加するなど、それぞれの組織団体における啓発活動を実施した。 ・市民委員8名については、女性フォーラム実行委員会に参画し、企画から運営まで携わった。また、女性センターが発行する啓発し『フェミナル』の編集サポーターとしても3名参加し編集に携わった。 ・民生児童委員から推薦いただいた6名については、DV被害者に接する可能性のある団体の方が、被害者を早期に相談機関へ繋げるために、対応の流れや相談窓口をまとめた「DV防止リーフレット」について説明するとともに、民生児童委員への配布に協力いただき、DV被害者を早期に相談機関へ繋げるための啓発を行った。														
評価1	(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください <input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓														
評価2	(CHECK) 数値目標 目標項目 目標・実績 <table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td>備考</td> </tr> </table>					目標値	達成年度	年度	28年度	29年度	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
目標値	達成年度	年度	28年度	29年度											
<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考											
評価3	(CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について														
課題	(CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。														
今後の方向性	(ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。														
令和元年に委嘱の男女共同参画推進員については、既に男女共同参画の視点を取り入れた防災の啓発講師を行っている方、性的マイノリティに関する啓発を行っていきたい方、今から男女共同参画について勉強していきたい方と、意欲や能力が人によって様々のため、まずは意見交換の機会を増やし、お互いのことをよく知るとともに、お互いが持っている知識を共有し男女共同参画に関する学びを深めるための勉強会を行っていく。また、令和元年度においては、性的マイノリティに関する啓発物を作成したいというご意見をいただいたこともあり、企画会議を設け、啓発物を作成する。															

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	健康福祉局	課	福祉課	事業番号	2321										
事業概要 (PLAN) 基本目標 2 社会の制度・慣行等の見直し 方針 3 地域コミュニティにおける男女共同参画の推進 重点方針 施策の方向 2 地域社会活動等の支援と男性の参加の促進 事業番号/事業名 2321 ボランティア活動への男性の参加の促進 事業内容 シニア世代も含めたボランティアの男性参加を促進するため、男性も受講しやすいボランティア養成講座など内容を工夫していく。		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか 実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください													
30年度に向けた方向性 (PLAN) 【課題】 少子高齢化及び福祉ニーズの多様化を背景に、様々な形の地域の支え合いが必要とされている一方で、担い手不足が課題となっている。 【今後の方向性】 ○ボランティアセンター 尼崎市社会福祉協議会のボランティアセンターでは、幅広い世代を対象としてボランティア講座を実施するなど、新たな担いづくりに取り組んでいるため、引き続き、シニア世代も含めたボランティア活動を促進するために、男性も受講しやすいボランティア養成講座など内容を工夫し、ボランティア活動の充実に取り組む市社協を支援する。 ○ささえあい地域活動センター「むすぶ」 地域で活動している方を登録するとともに、ボランティア講座等の受講者等の新たに活動したい方を登録し、地域活動への参加を希望する人を活動につなげる取組を進めていく。(平成29年「むすぶ」新規登録者数 177人)		評価2 (CHECK) 数値目標 目標項目 目標・実績 <table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td>備考</td> </tr> </table>				目標値	達成年度	年度	29年度	30年度	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
目標値	達成年度	年度	29年度	30年度											
<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考											
参考	関連する計画	あまがさき地域福祉計画													
実施内容 (DO) ※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。		評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容 男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について													
30年度	○ボランティアセンター ・啓発 広報機関誌ゆうりん 年間12回発行 6,600部 ・コーディネーター通信発行部数 年間12回発行 6,600部 ・ボランティア保険掛金助成 ・登録ボランティア 個人 239名(男性: 93名 女性: 146名) グループ 3,522名(男性: 948名 女性: 2,574名) ・幅広い世代がボランティア活動に参加するきっかけになるような、ボランティアの入門講座や学生向けの講座などを開催 ○ささえあい地域活動センター「むすぶ」 尼崎市社会福祉協議会が各支部に設置したささえあい地域活動センター「むすぶ」では、ボランティア講座等の受講者の中で地域活動への参加を希望する人に地域活動を紹介した参加を促した。(「むすぶ」新規登録者数 H29:177人、H30:81人)														
前年29年度	○ボランティアセンター ・啓発 広報機関誌ゆうりん 年間12回発行 7,560部 ・コーディネーター通信発行部数 年間12回発行 7,560部 ・ボランティア保険掛金助成 ・登録ボランティア 個人 267名(男性:111名 女性:156名) グループ 3,714名(男性:983名 女性:2,731名) ・幅広い世代がボランティア活動に参加するきっかけになるような、ボランティアの入門講座や学生向けの講座などを開催 ○ささえあい地域活動センター「むすぶ」 ・平成29年度より尼崎市社会福祉協議会は、人材や活動だけではなく、地域活動にかかるあらゆる支援を包含しているということ を地域住民や関係機関・団体などの外部に向けて発信するため、支部ボランティアセンターを改称して機能を強化し、ささえあい地域活動センター「むすぶ」を各支部に設置した。														
課題 (CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。		高齢化の進展等により今後も支援を必要とする人が増えていくことが予想される中、地域福祉活動を維持・発展させるためには、担い手となる人を効果的に確保・育成する仕組みづくりが課題となっている。													
今後の方向性 (ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。		新たな担いづくりに向けて、市社協や小学校区ごとに配置する地域担当職員と連携し、様々な学びの場の参加者等が活動に結び付くための仕組みを検討する。													

平成30年度【第3次尼崎市男女共同参画計画】実施状況調査票

局	総合政策局	課	協働推進課・各地域課	事業番号	2322										
事業概要 (PLAN)		評価1 (CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか													
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し	実施できた項目に <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項) ↓												
方針	3 地域コミュニティにおける男女共同参画の推進 重点方針														
施策の方向	2 地域社会活動等の支援と男性の参加の促進														
事業番号/事業名	2322 地域活動への男性の参加の促進	を入れてください													
事業内容	男性の地域活動への参加の好事例の紹介など、男性の地域活動への参加を促すような情報発信を地域団体と連携を取りながら検討していく。	評価2 (CHECK) 数値目標													
30年度に向けた方向性 (PLAN)	【課題】 男性の地域活動への参加を促すような取組や情報発信を行う必要がある。 【今後の方向性】 ポータルサイトにおいて、男性も参加しやすい情報発信の工夫を行うとともに、地区会館の指定管理者へも促す。また、日頃の取組の中で男性の参加を促進できるよう地域振興センターでの仕掛けづくりも行っていく。	目標項目 目標・実績 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>達成している</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>下回った</td> <td>備考</td> </tr> </table>				目標値	達成年度	年度	29年度	30年度	<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考
目標値	達成年度	年度	29年度	30年度											
<input type="checkbox"/>	達成している	<input type="checkbox"/>	下回った	備考											
参考	関連する計画	実績の評価													
実施内容 (DO)	※例えば、実施したセミナーの内容や特徴的な事例、それについての所管課の考えや工夫している点など、事業内容をイメージしやすいようなるべく詳しく記載してください。	評価3 (CHECK) 男女共同参画審議会による昨年度の指摘内容													
30年度	あまがさきチャレンジまちづくり事業において、地域住民自ら地域の課題解決に取り組むなど主体的な地域コミュニティの形成を促進するため、地域で活動を行う団体・グループが実施する事業に対して支援を行った。 支援対象8団体で男性の参加人数は47人であった。(男性の割合平均は54.02%) またポータルサイト(市民活動の広場あまがさき)にて、地域活動に関する情報を発信し参加を促した。	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について													
		課題 (CHECK) ※実施内容に記載した内容をうけての課題を記載してください。													
前年	あまがさきチャレンジまちづくり事業において、地域住民自ら地域の課題解決に取り組むなど主体的な地域コミュニティの形成を促進するため、地域で活動を行う団体・グループが実施する事業に対して支援を行った。 支援対象9団体で男性の参加人数は54人であった。(男性の割合平均は49.09%) またポータルサイト(市民活動の広場あまがさき)にて、地域活動に関する情報を発信し参加を促した。	男性の地域活動への参加を促すような取組や情報発信を継続して行う必要がある。													
29年度		今後の方向性 (ACTION) ※上記課題解決にむけての取組みの方向性を記載してください。													
		ポータルサイトにおいて、男性も参加しやすい情報発信の工夫を行うとともに、日頃の取組の中で男性の参加を促進できるよう地域課での事業等の企画・立案の中で仕掛けづくりも行っていく。													